ユーザー マニュアル

SyncMaster TC220W TC220N

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

BN46-00315A-00

著作権

このマニュアルの内容は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。

© 2012 Samsung Electronics

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics が保有しています。

このマニュアルの一部または全部について、Samsung Electronics の許可なく使用または複製することはできません。

SAMSUNG ロゴおよび SyncMaster ロゴは、Samsung Electronics の登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

ご使用になる前に

このマニュアルで使用されるアイコン

	以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

安全面での予防措置に使用される記号

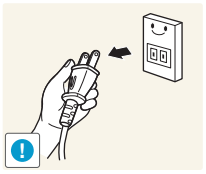
警告	指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
注意	指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。
	禁止行為を示しています。
	順守すべき行為を示しています。

クリーニング

お手入れに関する注意事項

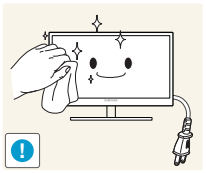
高度 LCD のパネルおよび外装はキズが付きやすいため、清掃の際はご注意ください。

清掃は、次の手順で行ってください。



1. モニターと PC の電源をオフにします。
2. モニターから電源コードを外します。

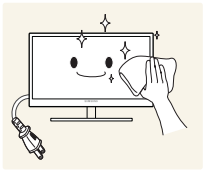
電源コードはプラグ部分を持ち、濡れた手でコードに触れないでください。感電の原因となることがあります。



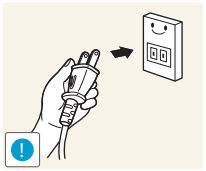
3. 清潔な柔らかい乾いた布でモニター画面を拭きます。

- アルコール、溶剤または界面活性剤を含む洗浄剤をモニターに使用しないでください。

- 製品に水や洗浄剤を直接かけないでください。



4. 柔らかい乾いた布を水で濡らし、しっかりと絞ってから、モニターの外装を清掃します。

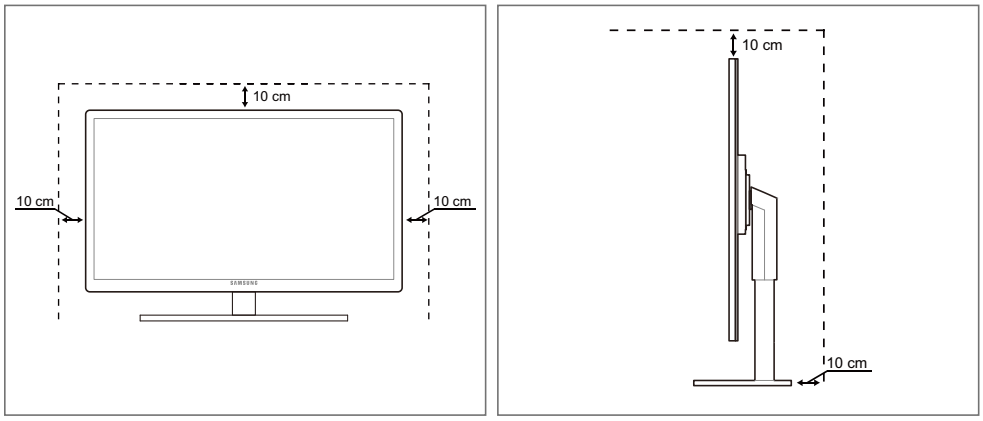


5. 製品の清掃が終わったら、電源コードを製品に接続します。
6. モニターと PC の電源をオンにします。

設置場所の安全確保

- 排気のため、製品の周囲に空間を確保してください。内部温度が上昇すると、火災や製品の破損の原因となることがあります。製品を設置するときには、少なくとも下図に示す空間を確保してください。

外観は製品のモデルによって異なる場合があります。



保管に関する注意事項

超音波加湿器を近くで使用している場合、光沢のあるモデルの表面に白いしみが発生する場合があります。

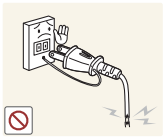
モニター内部の清掃が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センター (92 ページ) までお問い合わせください。(別途作業費がかかります)

安全のために

電気に関する注意事項

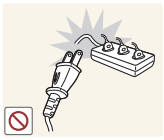
以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

警告



破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

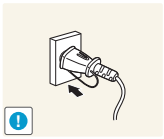


同じ電源ソケットに多数の製品の電源プラグを接続しないでください。

- ソケットが過熱し火災が発生することがあります。

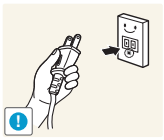
濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の原因となることがあります。



電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

- しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。



電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください(絶縁クラス 1 の機器のみ)

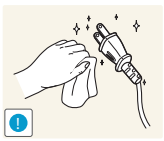
- 感電またはケガの原因となることがあります。

電源コードを無理に曲げたり引っ張ったり、または重い物で電源コードを圧迫しないでください。

- 電源コードが破損して、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



電源ケーブルのプラグまたはコンセントに異物 (ほこりなど) が付着している場合は、乾いた布で拭き取ってください。

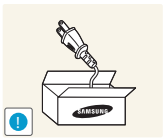
- 火災の原因となることがあります。

ご使用になる前に

注意

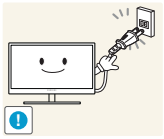
製品の使用中に電源コードを抜かないでください。

- 感電により製品が破損することがあります。



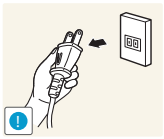
弊社が提供する電源コードのみを使用してください。
また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

- 製品に問題が発生した場合は、電源コードを抜いて完全に電源をオフにします。
  製品の電源ボタンだけでは、電源を完全にオフにすることはできません。



電源コードを電源ソケットから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

インストール方法

警告

ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

- 火災の原因となることがあります。

製品を本棚や壁付きクローゼットなどの換気の悪い狭い場所に設置しないでください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

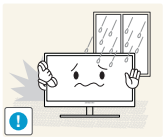
製品梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様がビニール袋で窒息することがあります。

ご使用になる前に

安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。



製品を車内に設置したり、ほこり、湿気（水切りなど）、油または煙にさらされる場所に設置したりしないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

製品を直射日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源にさらされる場所に設置しないでください。

- 製品の寿命が短くなったり火災の原因となることがあります。

製品をお子様の手の届くところに設置しないでください。

- 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。

注意

製品を移動させるときは落下にご注意ください。

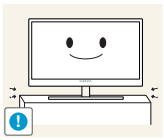
- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

製品の前面を下にして置かないでください。

- 画面が破損することがあります。

製品をキャビネットや棚に設置するときには、製品の前面下側がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚に設置してください。



製品を置くときは丁寧に置いてください。

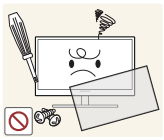
- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

通常とは異なる場所 (大量の微粒子、化学物質、極端な高温または低温にさらされる場所、あるいは長期間にわたって製品を連続稼動させる必要のある空港や駅) に製品を設置した場合には、製品性能に深刻な影響を与える可能性があります。

- これらの場所に製品を設置する場合は、事前に Samsung カスタマー サービス センター (92 ページ) にご相談ください。

ご使用の際の注意事項

警告

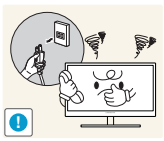


製品には高電圧が使用されています。お客様ご自身で製品を分解、修理または改造しないようにしてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センター (92 ページ) までお問い合わせください。

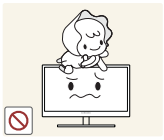
製品を移動させるときは、電源スイッチをオフにして、電源コードやアンテナ ケーブルなど製品に接続されているケーブルをすべて取り外してから移動させます。

- 電源コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。



製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いて Samsung カスタマー サービス センター (92 ページ) までご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

- 製品が落下して、お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。

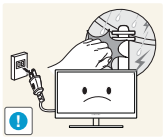
製品が落下したり外装が破損した場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター (92 ページ) までご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

ご使用になる前に

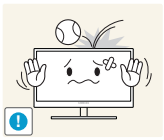
重い物や玩具、菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。



落雷や雷雨があるときは、製品の電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

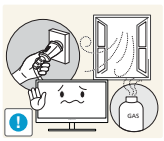


製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

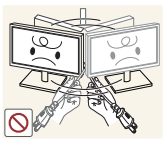
電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- 電源コードが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



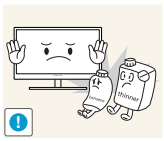
ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。



電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- 電源コードが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。

テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

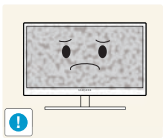
金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を製品の通気口やポートに入れないでください。

- 水や異物が製品内に入った場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（92 ページ）までご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

水の入った容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。

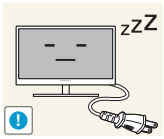
- 水や異物が製品内に入った場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（92 ページ）までご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。

- 長期間製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーン セーバーを設定してください。

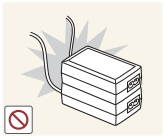


休暇などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。

- ほこりの堆積、過熱、感電または漏電が発生し、火災の原因となることがあります。

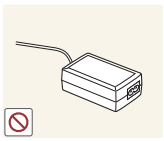
製品に適した解像度および周波数を使用してください。

- 視力低下の原因となることがあります。



複数の DC 電源アダプタを一緒に置かないでください。

- 火災の原因となることがあります。



DC 電源アダプタは、ビニール袋から取り出して使用してください。

- 火災の原因となることがあります。

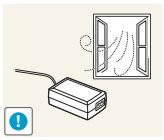
ご使用になる前に

DC 電源デバイスの内部に水が入ったり、デバイスが濡れることのないようにしてください。

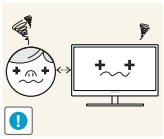
- 感電または火災の原因となることがあります。
- 屋外の雨や雪にさらされる場所で製品を使用しないでください。
- 床の清掃時に DC 電源アダプタが濡れないようにしてください。

DC 電源アダプタを暖房機器の近くに置かないでください。

- 火災の原因となることがあります。



DC 電源アダプタは、換気のよい場所に置いてください。



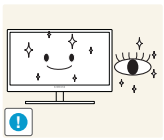
画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。

スタンドを持ってモニターを上下逆にしたり移動させたりしないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。

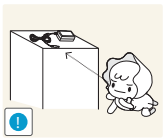
- 感電または火災の原因となることがあります。



製品を使用するときには、1 時間ごとに 5 分以上は目を休めるようにしてください。

- 疲れ目が緩和されます。

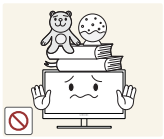
電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。



製品で使用される細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。

製品の角度やスタンドの高さを調整するときにはご注意ください。

- お子様の指や手が挟まれてケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、落下してケガの原因となることがあります。



製品の上に重い物を置かないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

製品使用時の正しい姿勢

次の事項を守り、正しい姿勢で製品を使用するようにしてください。

- 背中を伸ばします。
- 眼は画面から 45～50cm 離し、画面を少し見下ろすようにします。
  また、画面は顔の真正面にくるようにします。
- 画面に光が反射しないように角度を調整します。
- 前腕を上腕に対して垂直に保ち、前腕が手の甲と同じ高さになるようにします。
- 肘を直角に保ちます。
- 膝を 90 度以上曲げた状態でかかとが床に着き、さらに両腕が心臓より下にくるように製品の高さを調整します。

目次

ご使用になる前に

2 **著作権**
3 このマニュアルで使用されるアイコン
3 安全面での予防措置に使用される記号
4 **クリーニング**
4 お手入れに関する注意事項
5 設置場所の安全確保
5 保管に関する注意事項
6 **安全のために**
6 電気に関する注意事項
7 インストール方法
9 ご使用の際の注意事項
13 **製品使用時の正しい姿勢**

準備

19 **内容の確認**
19 梱包材の取り外し
20 内容物の確認
21 **部品**
21 前面のボタンについて
23 側面図
24 **インストール方法**
24 スタンドの取り付け
25 製品の傾きと高さの調整
25 モニターの回転
26 ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け
27 盗難防止用ロック

"WINDOWS EMBEDDED STANDARD 7" の使用（TC220W モデルのみ）

28 **"Windows Embedded Standard 7" クライアントとは？**
29 **"Windows Embedded Standard 7" を使用するための接続**
29 LAN 接続
29 USB デバイスの接続

目次

30 "Windows Embedded Standard 7" の使用
30 ログオン
30 "Windows Embedded Standard 7" デスクトップ
31 プログラム
38 設定ユーティリティ
39 システムの復元

入力信号デバイスの接続と使用

41 接続の前に
41 接続前のチェックポイント
42 PC の接続と使用
42 PC との接続
43 ドライバのインストール
44 最適な解像度の設定
45 PC を使用した解像度の変更
48 ビデオ機器との接続
48 外部モニターを接続する
49 ヘッドフォンへの接続
49 マイクの接続
50 電源の接続

画面の設定

51 明るさ
51 明るさ の設定
52 コントラスト
52 コントラストの設定
53 シャープネス
53 シャープネスの設定
54 SAMSUNG MAGIC Bright
54 SAMSUNG MAGIC Bright の設定
55 SAMSUNG MAGIC Angle
55 SAMSUNG MAGIC Angle の設定
56 粗調整
56 粗調整

目次

57 微調整
57 微調整

色合いの設定

58 SAMSUNG MAGIC Color
58 SAMSUNG MAGIC Color の設定
59 赤
59 赤 の設定
60 緑
60 緑 の設定
61 青
61 青 の設定
62 色温度
62 色温度 の設定
63 ガンマ
63 ガンマの設定

画面のサイズとポジションの変更

64 H- ポジション と V- ポジション
64 H- ポジション と V- ポジションの設定
65 画像サイズ
65 画像サイズ の変更
66 メニューの H- ポジションとメニューの V- ポジション
66 メニューの H- ポジションとメニューの V- ポジション の設定

セットアップとリセット

67 リセット
67 設定の初期化 (リセット)
68 言語
68 言語 の変更
69 エコ セービング
69 エコ セービングの設定

目次

70 現在時刻
70 現在時刻 の設定
71 オフタイマー
71 オフタイマー の設定
72 オンタイマー
72 オンタイマー の設定
73 オンタイマー入力
73 オンタイマー入力 の設定
74 オンタイマー音量
74 オンタイマー音量 の設定
75 カスタマイズキー
75 カスタマイズキー の設定
76 表示時間
76 表示時間の設定
77 メニューの透明度
77 メニューの透明度の変更

インフォメーションメニューおよびその他

78 インフォメーション
78 インフォメーションの表示
78 起動画面での 音量 の設定

ソフトウェアのインストール

79 ナチュラルカラー
79 ナチュラルカラー とは？
80 MultiScreen
80 ソフトウェアのインストール
81 ソフトウェアの削除
82 MagicRMS Pro (TC220W モデルのみ)
82 MagicRMS Pro について

目次

トラブルシューティング ガイド 83 Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に
83 製品のテスト
83 解像度と周波数の確認
83 以下について確認します。
86 Q & A

仕様 87 一般
89 省電力
90 標準信号モード表

付録 92 お客様相談ダイヤル
93 用語

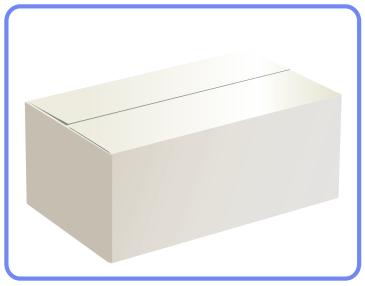
索引

1 準備

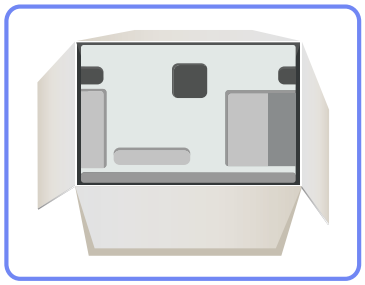
1.1 内容の確認

1.1.1 梱包材の取り外し

1 梱包されている箱を開きます。鋭利なものを使用して開梱する場合は製品を傷付けないようご注意ください。

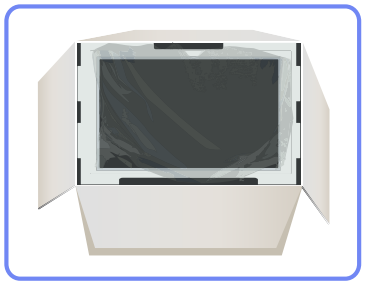


2 製品から発泡スチロールを取り外します。



3 内容物を確認して、発泡スチロールとプラスチックの袋を取り外します。

- 実際の内容物の外観は、表示とは異なる場合があります。
- この図はイメージです。

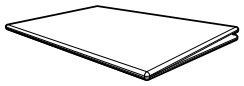


4 箱は、将来製品を移動させる時のために乾燥した場所に保管しておきます。

1.1.2 内容物の確認

- 不足している物がある場合は、製品を購入された販売店にお問い合わせください。
- 内容物および別売品の外観は、表示とは異なる場合があります。

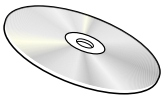
部品



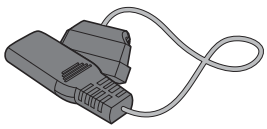
クイック セットアップ ガイド

保証書

（含まれていない地域もあります）

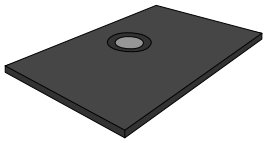


ユーザー マニュアル



電源ケーブル

DC 電源アダプタ

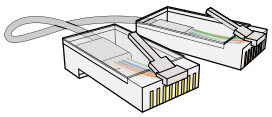


スタンド基部

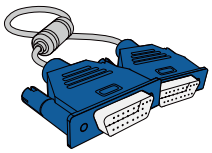
付属品は、販売している地域や国によって異なる場合があります。

別売り品目

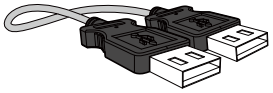
- 以下の別売品は、最寄りの小売店でご購入いただけます。
- 販売していない地域もあります。



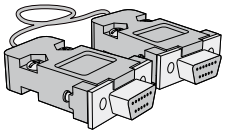
LAN ケーブル



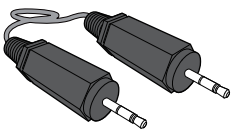
D-SUB ケーブル



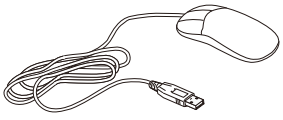
USB ケーブル



RS-232C ケーブル



ステレオ ケーブル



マウス (USB)

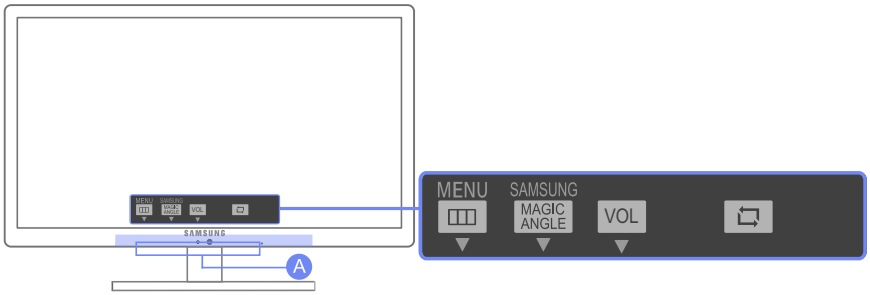
キーボード

ヘッドフォン

1.2 部品

1.2.1 前面のボタンについて

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

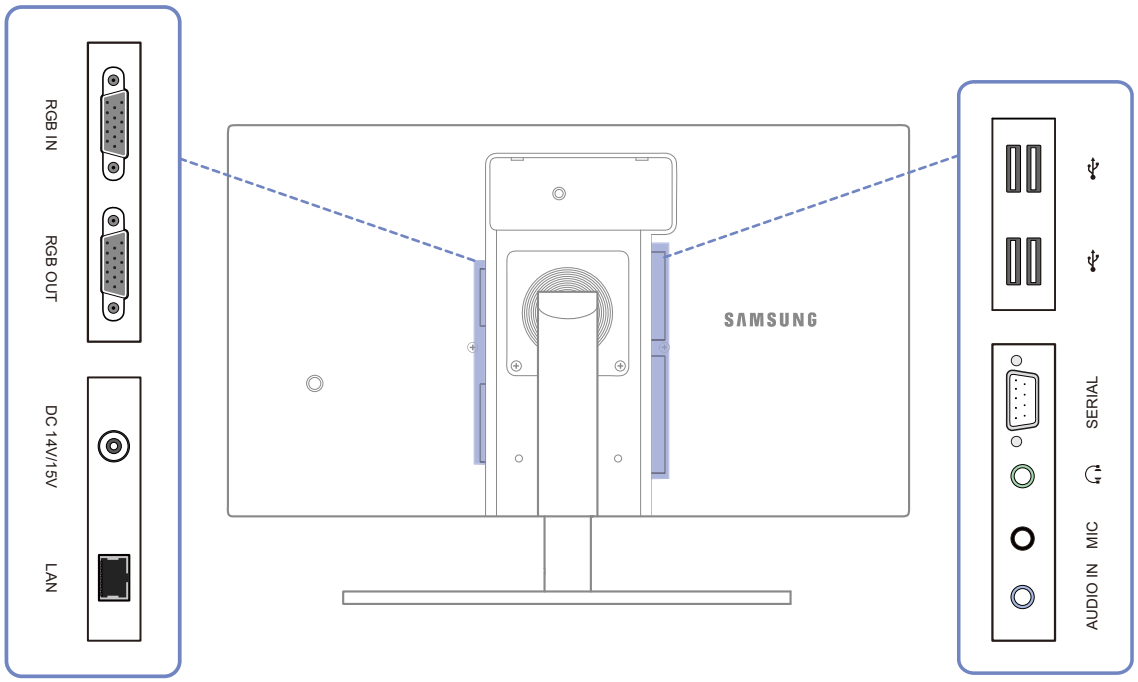


アイコン	説明
MENU	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、メニューを終了します。終了する前のメニューに戻る場合にも使用します。 • キー ロック この機能では、製品前面のボタンをロックして、現在の設定が他のユーザーによって変更されることを防ぎます。 ロック: [MENU] ボタンを 5 秒間押したままにします。キー ロック モードが有効になります。 ロック解除: キー ロックが有効のときに、[MENU] ボタンを 5 秒間押したままにします。キー ロック モードが無効になります。 キー ロック モードが有効になっているときは、製品前面のすべてのボタンが無効になります。
[ ]	**カスタマイズキー** を設定し、[ ] を押します。以下のオプションが有効になります。 SAMSUNG MAGIC**Angle** – SAMSUNG MAGIC**Bright** – **エコ セービング** – **画像サイズ** **カスタマイズキー** を設定するには、**セットアップとリセット** → **カスタマイズキー** に移動し、目的のモードを選択します。
▲/▼	メニュー間を上下に移動します。OSD メニューのオプション値を調整する場合にも使用します。

アイコン	説明
⊙	OSD が画面に表示されない場合は、ボタンを押して音量を調節します。
▭/↵	選択したメニューを確定します。 OSD メニューが表示されていないときに[▭/↵]ボタンを押すと、入力ソース (**デジタル**/**アナログ**) が切り替わります。[▭/↵]ボタンを押して電源をオンにするか、入力ソースを変更した場合は、変更した入力ソースを示すメッセージが画面左上に表示されます。
AUTO	[AUTO] ボタンを押して、画面の設定を自動的に調整します。 • **アナログ** モードでのみ使用することができます。 • [画面のプロパティ] で解像度を変更すると、**自動調整** 機能が有効になります。
⏻	ディスプレイのオン / オフを切り替えるために使用します。
◯ (電源ランプ)	製品が正常に動作しているときには電源インジケーターが点灯します。 • 省電力機能の詳細については、"11.2 省電力" を参照してください。 • 消費電力を抑えるために、長期間製品を使用しない場合には電源コードを抜いておくことをお勧めします。
Ⓐ スピーカー	モデル コードの 11 桁目が M の場合は、スピーカーが内蔵されています。 例: LF22NEBHBN**M**EN
OSD ガイド	モニターのいずれかのボタンを押すと、OSD ガイドが画面に表示されます。 モニター前面のボタンを押すと、OSD ガイドによって、押されたボタンに対応するメニューの前にボタンの機能が表示されます。 メニューに移動するには、モニター前面のボタンを再度押します。 OSD ガイドは、機能およびモデルによって異なることがあります。実際の製品を参照してください。

1.2.2 側面図

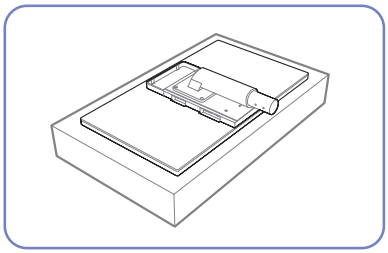
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



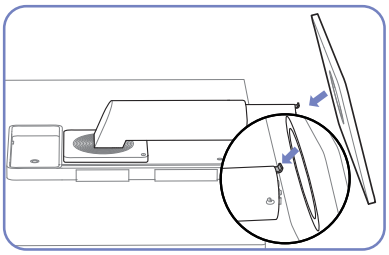
ポート	ポート
	[RGB IN] – D-Sub ケーブルを使用して PC デバイスと接続します。 [RGB OUT] – D-Sub ケーブルを使用してモニター デバイスと接続します。
	DC 電源アダプタを接続します。
	LAN ケーブルを使用してネットワークに接続します。
	オーディオ ケーブルを通じて PC から音声を受信します。
[MIC]	マイクと接続します。
[ ]	ヘッドフォンなどのオーディオ出力デバイスを接続します。
	RS232C ケーブルを使用して別のモニターと接続します。
	USB メモリ デバイス ポート

1.3 インストール方法

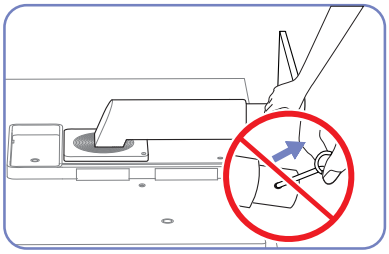
1.3.1 スタンドの取り付け



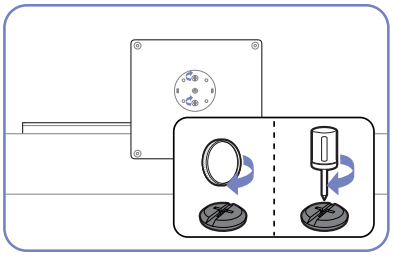
平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。



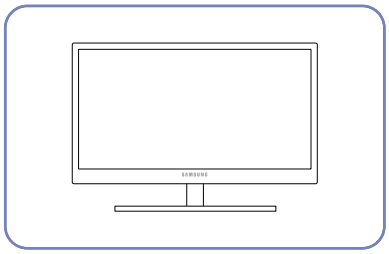
スタンド ベースを、矢印の方向に向かってスタンドに挿入します。



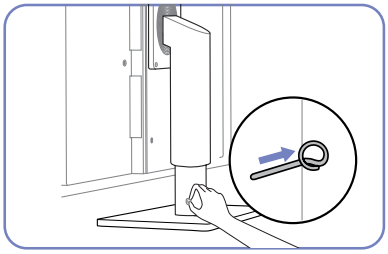
スタンドの取り付けが完了するまで、固定ピンを取り外さないでください。



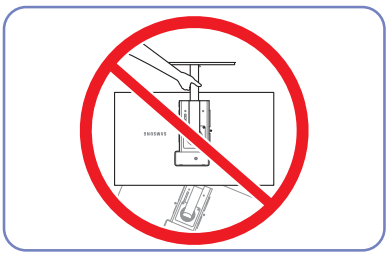
スタンド ベースの下部にネジを取り付け、しっかりと締めます（ネジ回しまたはコインを使用します）。



スタンドの取り付け後、製品を直立させます。



固定ピンを取り外し、スタンドを調整することができます。



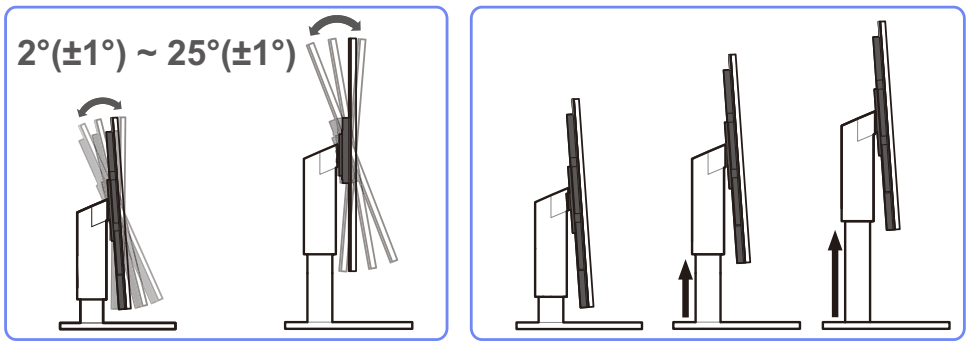
– 警告

スタンドのみを持って、製品を逆さまにしないでください。

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

1.3.2 製品の傾きと高さの調整

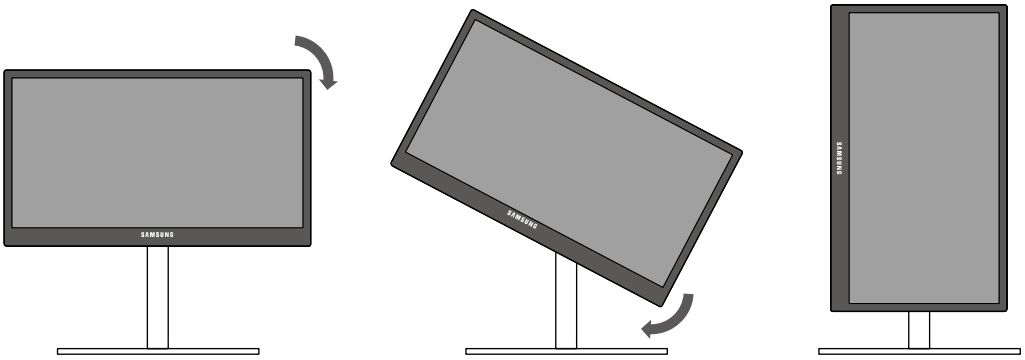
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



- 高さを調整するには、固定ピンを取り外します。
- モニターの傾きと高さを調整することができます。
- 製品の上部中央を持ち、慎重に高さを調整します。

1.3.3 モニターの回転

下図に示すように、モニターを回転させることができます。

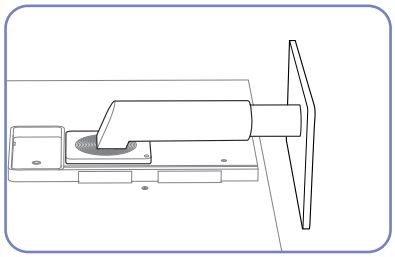


- モニターを回転させる前に、スタンドを完全に伸張させてください。
- スタンドを完全に伸張させずにモニターを回転させると、モニターの角が床にぶつかり、損傷することがあります。
- モニターを反時計回りに回転させないでください。モニターが損傷することがあります。

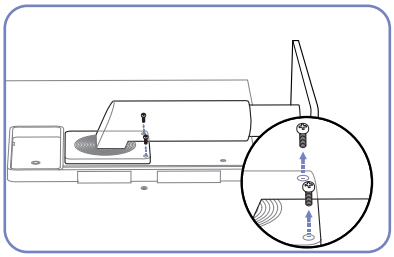
1.3.4 ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け

取り付けの前に

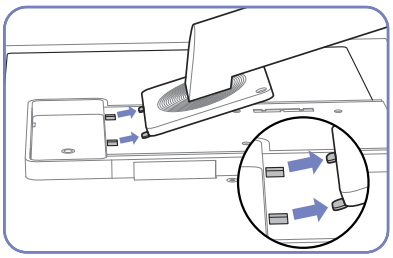
製品の電源をオフにして、電源ソケットから電源ケーブルを取り外します。



平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。

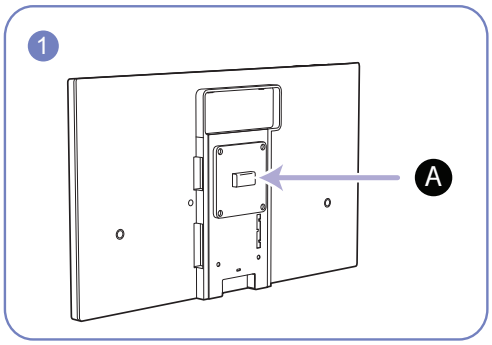


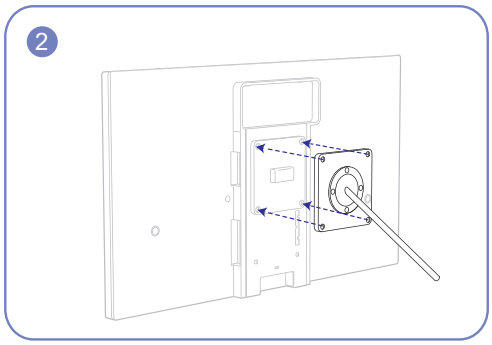
製品の背面にある 4 本のネジを取り外します。

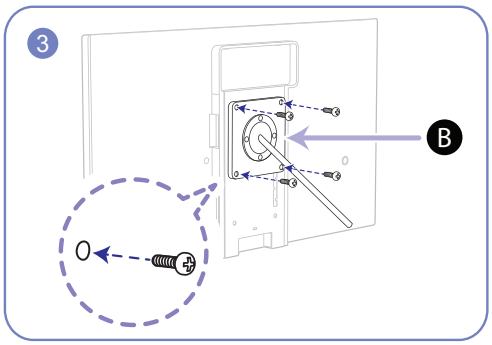


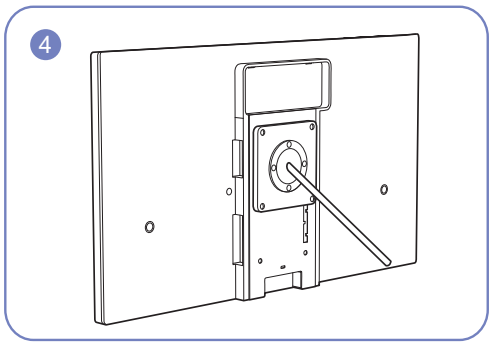
スタンドを持ち上げて取り外します。

ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け









Ⓐ ここにウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドを取り付けます

Ⓑ ブラケット（別売り）

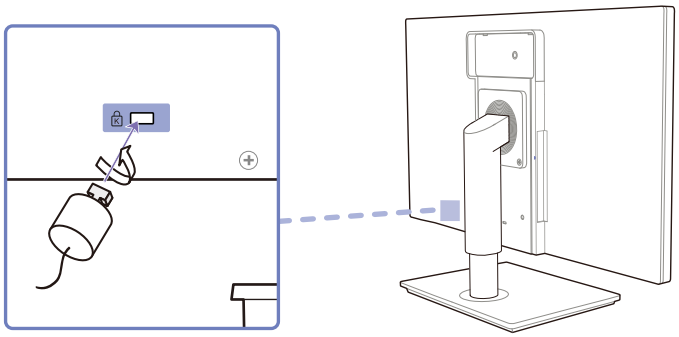
溝と溝を合わせ、ネジをしっかりと締めて、製品のブラケットと取り付けるウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの対応する部品を固定します。

注意

- 標準の長さよりも長いネジを使用すると、製品の内部コンポーネントを損傷することがあります。
- VESA 規格に準拠していないウォール マウントで必要なネジの長さは、仕様によって異なります。
- VESA 規格に準拠していないネジを使用しないでください。ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け時に過度な力を加えないでください。製品が落下または破損し、傷害の原因になる場合があります。Samsung では、不適切なネジを使用したこと、または、ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け時に過度な力を加えたことが原因で発生した損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- Samsung では、指定以外のウォール マウント キットを使用したこと、または、ご自身でウォール マウント キットを取り付けようとしたことが原因で発生した製品の損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- 製品を壁掛けにする場合には、壁から 10 cm 以上離して取り付け可能なウォール マウント キットをご購入ください。
- 規格に準拠したウォール マウント キットを使用してください。

1.3.5 盗難防止用ロック

盗難防止用ロックで、公共の場所でも本製品を安心してご使用いただくことができます。ロック装置の形状およびロック方法は、メーカーによって異なります。詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。ロック デバイスは別売りです。



盗難防止用ロック装置のロック方法

1. 盗難防止用ロック装置のケーブルを、机などの重量物に固定します。
2. ケーブルの一方の端を、他方の端のループに通します。
3. ロック装置を、本製品の背面にある盗難防止用ロック装置用のスロットに挿入します。
4. ロック装置をロックします。

- 盗難防止用ロック装置は、別売です。
- 詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
- 盗難防止用ロック装置は、家電小売店やオンラインでご購入いただけます。

2 "Windows Embedded Standard 7" の使用 (TC220W モデルのみ)

2.1 "Windows Embedded Standard 7" クライアントとは?

Microsoft Windows Embedded Standard 7(WES7) クライアントでは、Microsoft Windows Embedded Standard 2011 OS が使用されます。Citrix XenDesktop、VMWare View Client または Microsoft Remote Desktop Connection サービスが利用可能なサーバーに WES クライアントが接続された場合は、クライアントとサーバー間のネットワークを通じて、キーボード、マウス、オーディオ/ビデオ、および表示データがクライアントに転送されます。

接続できるサーバー

- Citrix XenDesktop サーバー
  - Terminal Service および Citrix XenServer がインストールされた Microsoft Windows 2000/2003/2008 Server
- VMWare View Client サーバー
  - Terminal Service および VMWare Server がインストールされた Microsoft Windows 2000/2003/2008 Server
- Microsoft RDP(Remote Desktop Protocol) Server
  - Terminal Services がインストールされた Microsoft Windows 2000/2003/2008 Server
  - Microsoft Windows 7 Professional

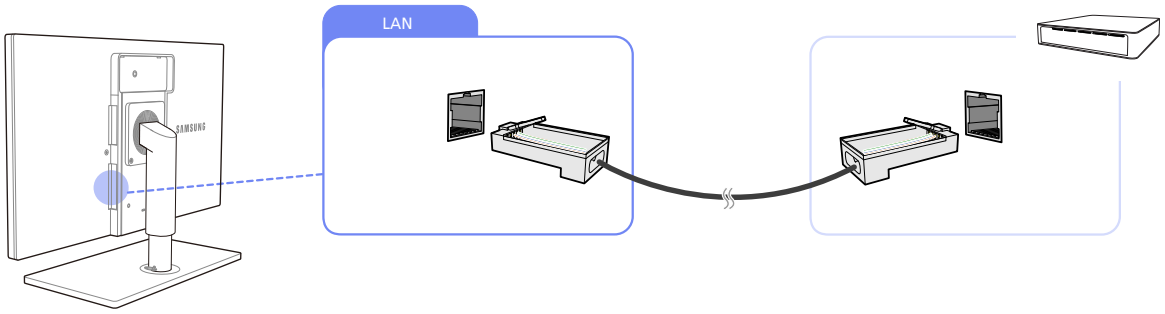
このマニュアルでは、WES クライアントが提供する機能について説明しています。ただし、WES の一般的な機能については説明していません。Windows 7 のより一般的な情報については、Microsoft 社の提供する Windows 7 Help を参照してください。

本ページに記載されている内容は、TC220N モデルには適用されません。このモデルはオペレーティング システムを使用していません。

2 "Windows Embedded Standard 7" の使用 (TC220W モデルのみ)

2.2 "Windows Embedded Standard 7" を使用するための接続

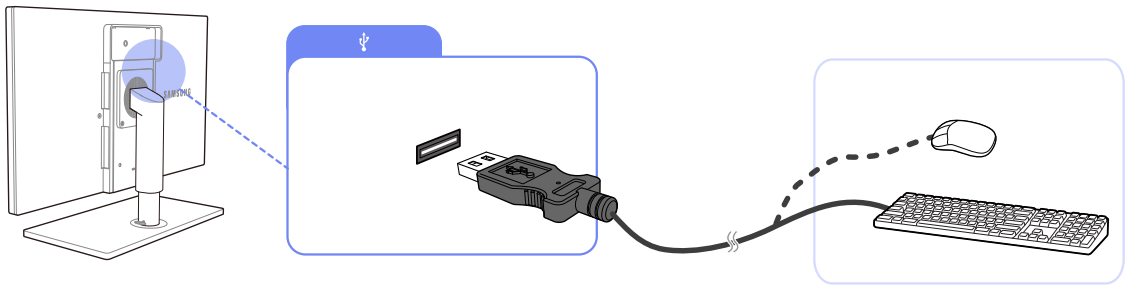
2.2.1 LAN 接続



1 LAN ケーブルを製品背面の [LAN] に接続します。

- ネットワーク速度が 10Mbps 以下の場合はサポートされません。
- 接続には カテゴリー 5 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。
  *Shielded Twist Pair (ツイストペアケーブル)

2.2.2 USB デバイスの接続



1 USB デバイス (キーボード、マウスなど) を製品背面の [ψ] に接続します。

[ψ] ポートは、USB 2.0 をサポートしています。

2 "Windows Embedded Standard 7" の使用 (TC220W モデルのみ)

2.3 "Windows Embedded Standard 7" の使用

2.3.1 ログオン

クライアントが起動したら、ユーザー名とパスワードを入力してログオンすることができます。デフォルトでは、**Administrator** アカウント (パスワードは空欄) で自動的にログインできます。

2.3.2 "Windows Embedded Standard 7" デスクトップ

Standard User

Standard User としてログインした場合は、不適切なユーザー アクションからシステムを保護するため、多数の制限があります。システムドライブにアクセスすることはできず、それらのドライブに関するプロパティの設定にも制限があります。クライアントの高度で詳細な設定を行うには、**Administrator** としてログインします。

本製品を使用する一般ユーザーに対しては、**Standard User** アカウントを作成することをお勧めします。

Administrator

Administrator アカウントには、システムの設定およびソフトウェアのインストール/アンインストールを行う権限があります。セキュリティ上の理由からアクセス権限を制限する場合や管理者権限が不要な場合、一般ユーザーに対しては、**Standard User** アカウントを作成することをお勧めします。

オーディオ音量アイコン、Enhanced Write Filter ステータスアイコンおよびシステム時刻は、**Administrator** タスクバーに表示されます。プログラムの追加と削除には、**Administrator** 権限が必要です。

Log off, Restart, Shut down

- 現在のセッションをログオフするか、クライアントをシャットダウンまたは再起動するには、[**Start**] メニューを使用します。[**Start** → **Shut down**].[**Shut Down**] Windows ダイアログ ボックスが表示されます。直ちにクライアントをシャットダウンするには、[**Start** → **Shut down**] を選択します。[**Log off**]、[**Restart**] などを選択するには、マウス カーソルを [**Shut down**] の横の [▶] アイコンに合わせます。または、**Ctrl** + **Alt** + **Del** を押して、[Windows セキュリティ] ダイアログ ボックスを使用し、[Log off] または [**Shut down**] を実行することもできます。[**Force Auto Log on**] が有効の場合は、ログオフ後直ちにログインを求められます。
- クライアントの **Log off**、**Restart** および **Shut down** は、EWF (Enhanced Write Filter) の動作に影響します。変更されたシステム設定を保存するには、現在のシステムセッションのキャッシュをフラッシュメモリに保存する必要があります。この操作を行わないと、クライアントがシャットダウンまたは再起動されたときに設定が失われます。(ログオフした場合には、設定は次にログインしたときに復元されます) **Enhanced Write Filter** の詳細については、プログラム ヘルプを参照してください。

2 "Windows Embedded Standard 7" の使用 (TC220W モデルのみ)

2.3.3 プログラム

Remote Desktop Connection

リモート デスクトップ 接続を通じて、稼働しているサーバーまたは別のコンピュータ (Windows 95 以降) を離れた場所から制御することができます。

- Remote Desktop
  - 遠隔制御するコンピュータには、Windows 7 Professional または Windows 2000/2003/2008 サーバーがインストールされている必要があります。このコンピュータはホストと呼ばれます。
  - Windows 95より新しいオペレーティングシステムで稼働しているリモートコンピュータが必要です。このリモートコンピュータはクライアントと呼ばれます。リモートデスクトップ接続用のクライアントソフトウェアがクライアントにインストールされている必要があります。
  - インターネットにも接続している必要があります。ブロードバンドのインターネット接続があると、高い性能が得られます。しかしリモートデスクトップは、表示データとホストをリモートから制御するキーボードのデータを含む最小限のデータセットを伝送するため、ブロードバンドのインターネット接続は必須ではありません。低帯域幅のインターネット接続でもリモートデスクトップを実行することができます。

  Windows 7 Professional上でリモートデスクトップを実行しているときには、コンピュータのオペレーティングシステムを使用することはできません。

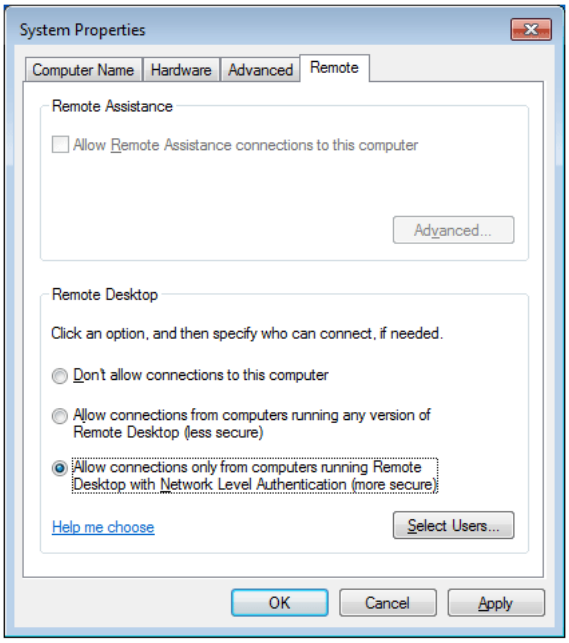
- お使いのコンピュータをホストにする

  コンピュータを別のコンピュータから制御するには、Remote Desktop 機能を有効にする必要があります。コンピュータで Remote Desktop を有効にするには、Administrator としてログインするか、Administrators group のメンバーとなっている必要があります。以下の手順を実行します。

  1. [Control Panel] で [System] フォルダを開きます。
  2. [Start] → [Control Panel] → [System and Security] → [System] に移動し、[Remote settings] をクリックします。
  3. Remote Desktop または RemoteApp を使用した他の PC からのアクセスをブロックするには、[Don't allow connections to this computer.] を選択します。

- 任意のバージョンの Remote Desktop または RemoteApp を使用してリモート PC からのアクセスを許可するには、「Allow connections from computers running any version of Remote Desktop (less secure).」を選択します。このオプションは、他の PC で使用されている Remote Desktop Connection のバージョンが不明の場合に適しています。このオプションは、次のオプション (オプション 3) よりセキュリティ レベルが低いことに注意してください。
- ネットワーク認証を要求する Remote Desktop または RemoteApp バージョンを使用したリモート PC からのアクセスを許可するには、[Allow connections only from computers running Remote

Desktop with Network Level Authentication (more secure)] を選択して、ネットワーク レベルの認証を使用して **Remote Desktop** を実行します。



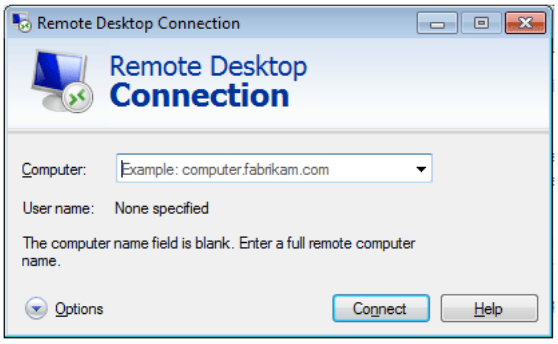
- クライアント上でリモートデスクトップセッションを開始します。

  ホスト コンピュータでリモート接続を許可するよう設定し、Windows ベースのクライアント コンピュータにクライアント ソフトウェアをインストールすると、**Remote Desktop** セッションを開始できるようになります。

  まず最初に、クライアントコンピュータからホストコンピュータへの仮想プライベートネットワーク接続またはリモートアクセスサービス接続を確立する必要があります。別のリモート デスクトップに接続するには、以下の指示に従ってください。

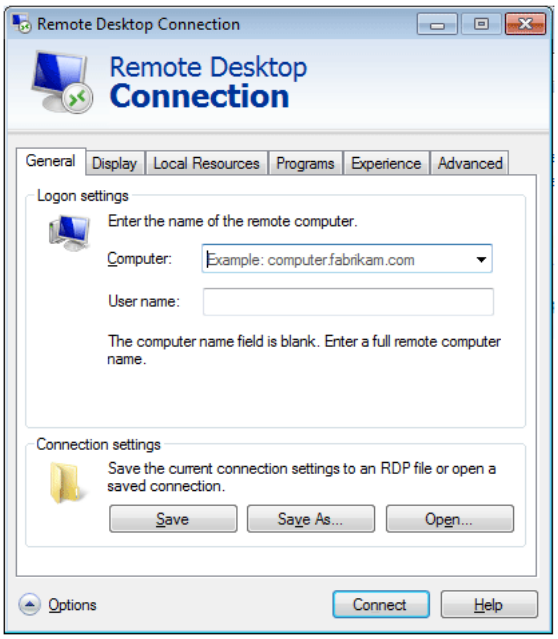
  1 [**Start**] → [**All Programs**] → [**Accessories**] → [**Remote Desktop Connection**] に移動するか、[**Remote Desktop Connection**] アイコンをダブルクリックして、**Remote Desktop Connection** を開きます。

  2 ホストコンピュータ名を入力します。[**Options**] ボタンをクリックして、詳細な設定を行うことができます。

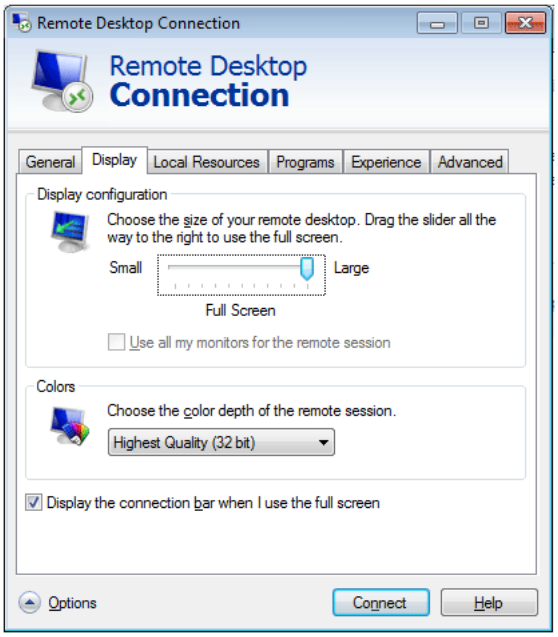


3 **Options**

– **General** :ホスト コンピュータ用のログイン情報を入力します。自動的にログインするには、ユーザー名とパスワードを入力します。

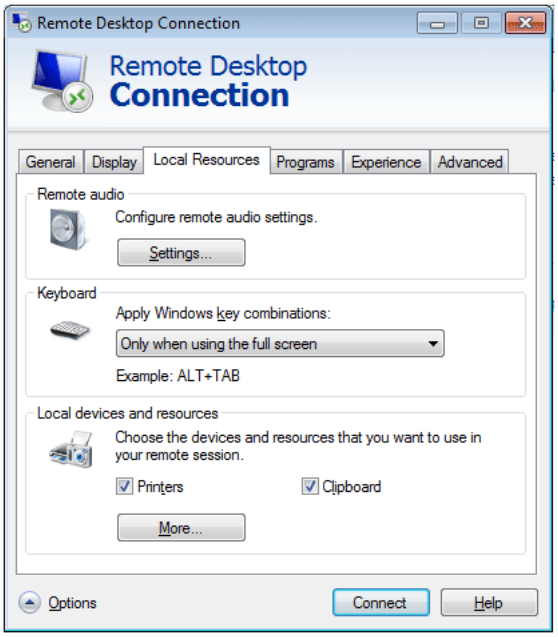


– **Display** :**Remote Desktop Connection** によって、圧縮された画面データが送受信されます。解像度と色数を大きな値に設定すると、速度が遅くなることがあります。

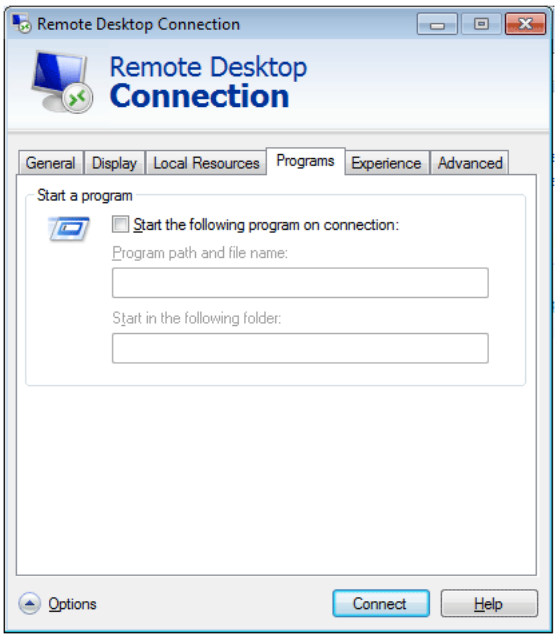


– **Local Resources** :ハードディスクおよびポートを使用するかどうか指定します。

2 "Windows Embedded Standard 7" の使用 (TC220W モデルのみ)

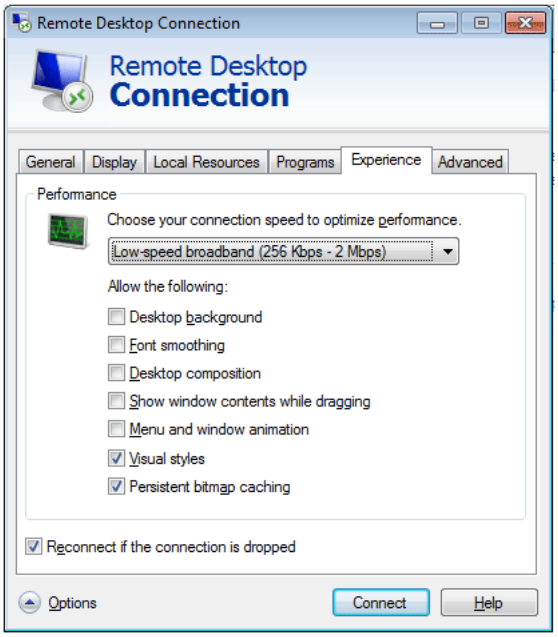


- **Programs** :アプリケーションを選択し、ホスト PC との接続が確立されたときにアプリケーションを実行するフォルダを指定します。

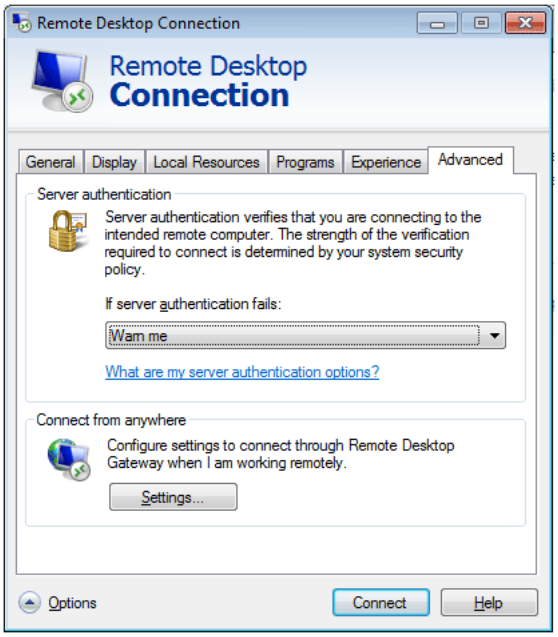


- **Experience** :接続速度および、接続されたリモート PC で使用するメニュー項目を指定します。設定はホスト PC と共有されます。

2 "Windows Embedded Standard 7" の使用 (TC220W モデルのみ)



- **Advanced** :接続の確立時に個人情報を保護します。



4 [**Connect**] をクリックします。[Windowsにログオン]ダイアログボックスが表示されます。

5 [Windows ログオン] ダイアログ ボックスで、ユーザー名、パスワードおよびドメイン (必要な場合) を入力して、[**OK**] をクリックします。[**Remote Desktop**] ウィンドウが開き、ホストコンピュータ上のデスクトップ設定、ファイルおよびプログラムが表示されます。

Remote Desktop Connections の詳細については、**Microsoft** 社の Web サイトをご覧ください。

2 "Windows Embedded Standard 7" の使用 (TC220W モデルのみ)

Internet Explorer

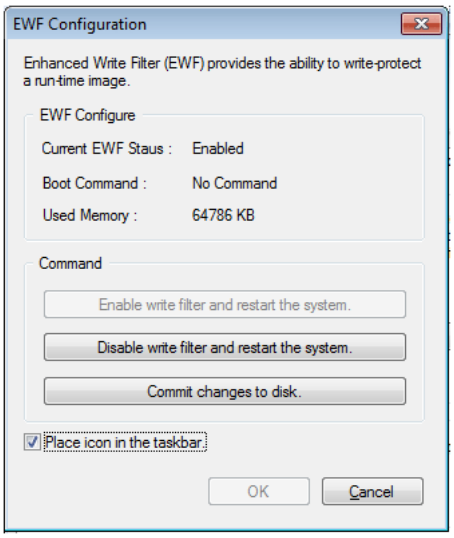
WES クライアントにはInternet Explorerが含まれています。このプログラムは、すべてのユーザーが使用できます。Microsoft 社の Web サイト。

Internet Explorerの詳細については、Microsoft websiteを参照してください。

Enhanced Write Filter (EWF)

Enhanced Write Filter (EWF)は、フラッシュボリュームを書き込みアクセスから保護し、それによってフラッシュデバイスの耐久性を維持します。EWFは、クライアントにフラッシュボリュームへの直接アクセスを許可するのではなく、キャッシュ経由による読み込みおよび書き込みアクセスを提供します。

EWF が有効になっているときには、データはフラッシュ メモリに格納されません。キャッシュに保存されたデータは、クライアントの動作中のみ有効となります。キャッシュされたデータは、クライアントが再起動またはシャットダウンされると失われます。したがって、レジストリ、お気に入り、cookieフォルダなどに書き込まれたデータを保存するには、キャッシュに保存された内容をフラッシュに転送する必要があります。メモリ不足のためにキャッシュへの書き込みができないときには、エラーメッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合には、EWFキャッシュをフラッシュするためにEWFを無効にする必要があります。ユーザーは、画面右下のトレイにあるEWFアイコンをダブルクリックして、EWF Managerを呼び出すことができます。さらにユーザーは、コマンドプロンプトからEWF管理コマンドを入力して、EWFの設定を変更できます。このタスクには Administrator 権限が必要です。



- **Enable write filter and restart the system.**

  EWFが無効になっている場合には有効にします。この項目が選択されている場合には、キャッシュがクリアされEWFが有効になります。コンピュータを再起動した後、クライアントの設定とファイルシステム情報がキャッシュに書き込まれます。この操作は、コマンドプロンプトに「ewfmgr.exe c: -enable」と入力してコンピュータを再起動することでも実行できます。

- **Disable write filter and restart the systems.**

  この項目が有効になっているときには、EWFが実行されています。この項目が選択されているときには、(キャッシュに保存されている) クライアントの現在の状態がフラッシュボリュームに保存され、EWFが無効になります。コンピュータを再起動した後、クライアントの設定とファイルシステム情報がフラッシュボリュームに書き込まれます。この操作は、コマンドプロンプトに「ewfmgr.exe c: -commitanddisable」と入力してコンピュータを再起動することでも実行できます。

- **Commit changes to disk.**

  この項目が有効になっているときには、EWFが実行されています。この項目が選択されているときには、(キャッシュに保存されている) クライアントの現在の状態がフラッシュボリュームに保存されます。ただし、EWFの状態は変更されません。この操作は、コマンドプロンプトに「ewfmgr.exe c: -commit」と入力することでも実行できます。

  保護されたボリュームの設定は、コマンドプロンプトで「ewfmgr.exe c:」と入力すると表示することができます。

File-Based Write Filter (FBWF)

File-Based Write Filter (FBWF) によって、権限のないユーザーがクライアントのメモリを上書きしないよう保護されています。メモリへの過剰な書き込みを制限することにより、FBWF では長時間クライアントを使用することができます。入出力を要求した場合には、FBWF はクライアントにメモリではなくキャッシュを使用して操作を行わせ、メモリを保護します。

キャッシュに保存されているデータは、クライアントが正常に操作している間は保存されます。再起動または終了すると削除されます。変更を保存するには、commit コマンドを使用して当該のファイルをディスク上に書き込みます。どのファイルが変更されたかわからない場合には、FBWF を無効にして変更を行い、その後で再度 FBWF を有効にします。

コマンド プロンプトでさまざまなコマンド オプションを使用して、FBWF を制御することができます。

- **FBWF Configuration**
  - **Current FBWF status** :FBWF の現在のステータスが表示されます (**Enabled** または **Disabled**)。
  - **Boot command** :次回起動時に実行される FBWF コマンドを表示します。
  - **RAM Used by FBEF** :FBWF が使用している RAM のサイズを表示します。現在のステータスが「Disabled」に設定されている場合は、表示メモリが 0 KB と表示されます。
  - **Threshold** :FBWF が使用できる RAM の最大サイズを表示します。
- **FBWF Command**
  - **Enable FBWF and reboot the system** :無効になっている FBWF を有効にして、クライアントを再起動します。クライアントが再起動しない場合には、起動コマンドのみが BWF_ENABLE に変更され、現在のステータスは変更されません。
  - **Disable FBWF and reboot the system** :有効になっている FBWF を無効にして、クライアントを再起動します。クライアントが再起動しない場合には、起動コマンドのみが FBWF_DISABLE に変更され、現在のステータスは変更されません。

- Commit files :ディスクが FBWF によって保護されている場合でも、保存したいファイルの追加または削除を行うことができます。ディスクに変更を書き込むには、[Write the changes to the disk] ボタンをクリックします。

- Session Status
  - Current session :FBWF によって保護されているボリュームと、FBWF による保護から除外されているボリュームのフォルダおよびファイルのリストを表示します。
  - Next session :クライアントが次回起動されたときに FBWF によって保護するボリュームを選択します 。FBWF による保護から除外するフォルダおよびファイルも選択します。

Windows Media Player

WES クライアントには、Windows Media Player 12が含まれています。Windows Media Playerで、Webサイト上の音声およびビデオファイルを再生することができます。

2.3.4 設定ユーティリティ

Local Drive

- Cドライブ

  Cドライブは、システムが使用します。システム ドライブの空きディスク容量が不十分な場合は、クライアント OS が動作しません。C ドライブに十分な空きディスク容量を確保してください。EWFによって、Cドライブに直接書き込みが行われるのを防いで使用可能な空き容量を維持することができます。

- ファイルの保存

  クライアントは、固定サイズのフラッシュメモリを使用します。したがって、クライアントではなくサーバーにファイルを保存する方が望ましい方法です。

ネットワークドライブの割り当て

Administrator は、ネットワーク ドライブにフォルダをマッピングすることができます。クライアントの再起動後も割り当て情報を維持するには、以下の支持に従ってください。

- [Map Network Drive] ダイアログ ボックスで、[Reconnect at logon] チェックボックスを選択します。
- EWF または FBWF が有効になっている場合には、変更はディスクに保存されます。

2.3.5 システムの復元

概要

動作中のシステムに重大な不具合が発生した場合に備えて、WES クライアントには、システムを最後にバックアップしたときの状態または工場出荷時の状態に復元する機能があります。正常に動作していたOSのイメージを、USBメモリまたはPXEサーバーにバックアップすることができます。以下のような問題が発生したときに、バックアップされたイメージを復元することができます。

- システムファイルが誤って削除されたか破損したとき
- クライアントコンピュータが不安定になっている、またはデバイスドライバに問題が発生したとき
- 新しいプログラムまたはデバイスをインストールした後に問題が発生したとき
- クライアントコンピュータがウイルスに感染したとき
- Windows Embedded Standard が起動しないとき、またはシステム ファイルが誤って削除されたか破損しているとき

システムの復元方法

- USBメモリを使用した復元

  以下の手順を実行すると、必要なすべてのファイルをUSBメモリに保存し、USBメモリにバックアップしたシステムを使って起動を行ってシステムを復元することができます。

  1. システムを起動できるように、USB メモリ デバイスをフォーマットします。
  2. USBメモリに、復元されるWindows Embedded Standardのイメージとバックアップ/復元ユーティリティを保存します。
  3. USBメモリで起動します。
  4. USBメモリ内のWindows Embedded Standardイメージとバックアップ/復元ユーティリティを使用して、システムを復元します。

- ネットワーク起動を使用した復元

  この方法は、PXE (Preboot eXecution Environment) サーバーを通じて提供されます。PXEサーバーは、TCP/IP、DHCPおよびTFTPをベースにしたクライアント/サーバーインターフェイスを持っています。PXEサーバーでは、リモートからネットワーク経由でクライアント上のオペレーティングシステムの設定および起動を行うことができます。

  - PXE サーバーを導入します。
  - PXEサーバーに、復元されるWindows Embedded Standardのイメージとバックアップ/復元ユーティリティを保存します。
  - ネットワーク経由で起動します。
  - ネットワーク経由でPXEサーバーに保存されたWindows Embedded Standard イメージとバックアップ/復元ユーティリティを使用して、システムを復元します。

  （詳しくは、PXEサーバーのユーザーマニュアルを参照してください）

2 "Windows Embedded Standard 7" の使用 (TC220W モデルのみ)

- スタンドアロン復元ソリューションの使用

  製品に保存されている復元イメージを使用してシステムを復元します。

  1. 電源をオンにし、システムが起動したらすぐに (起動中に) Home キーを押して起動メニューを表示させます。
  2. Recovery Mode メニューを選択し、P キーを押し、パスワード "admin" を入力します。
  3. Enter キーを押して Recovery Mode メニューを実行します。
  4. PROMPT "root@xxxxx:/#" が表示されたら、"recovery" と入力してシステムを復元します。
  5. システムの復元が完了したことを知らせるメッセージの後に PROMPT が表示されたら、reboot コマンドを実行してシステムを再起動します。

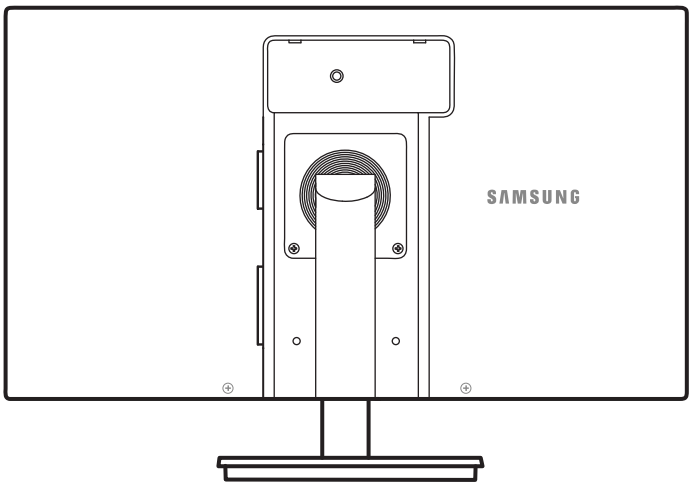
  ディスクは以下のように設定されています。パーティションを削除したり変更したりすると、システムが起動しなくなったり、Standalone 復元ソリューションを使用できなくなったりする場合があります。

BOOT_AGENT	WES7	BACKUP
ドライブ名は定義されていません。	C:	ドライブ名は定義されていません。

ユーザーが保存したデータおよび変更した設定はシステム復元後に削除されます。

3 入力信号デバイスの接続と使用

3.1 接続の前に



3.1.1 接続前のチェックポイント

- 入力信号デバイスを接続する前に、各デバイスに付属するユーザーマニュアルをお読みください。
  入力信号デバイスのポートの位置および数は、デバイスによって異なる場合があります。
- すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。
  接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。

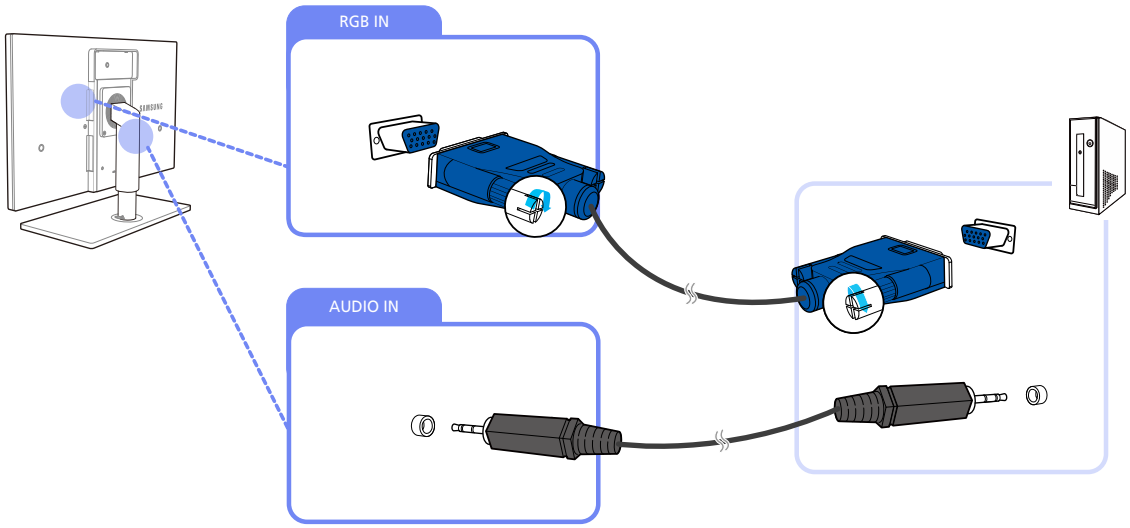
3.2 PC の接続と使用

3.2.1 PC との接続

- お使いの PC に適した接続方法を選んでください。

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

D-SUB ケーブル (アナログ タイプ) による接続



1. 製品の背面にある [RGB IN] ポートと PC の RGB ポートを D-SUB ケーブルで接続します。
2. 音声出力ケーブルを、製品の [AUDIO IN] ポートと PC の音声出力ポートに接続します。
3. DC 電源アダプタを製品本体とコンセントに接続します。次に、PC の電源スイッチをオンにします。
   (詳細については、"3.4 電源の接続" を参照してください。)
4. [⏎/↵]を押して入力ソースを **アナログ** に変更します。

3.2.2 ドライバのインストール

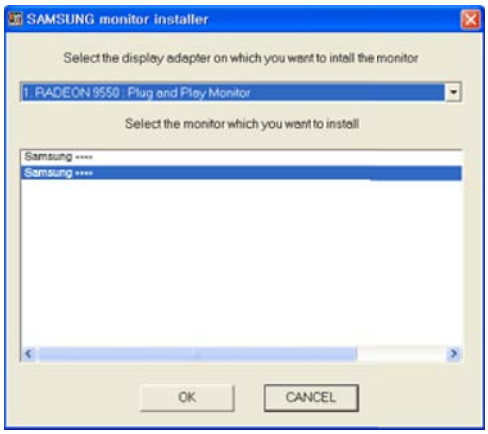
- 適切なドライバをインストールすることで、製品の最適な解像度および周波数を設定することができます。
- インストール用のドライバは、製品に付属している CD に含まれています。
- 付属のファイルに問題がある場合は、Samsung のホームページ (http://www.samsung.com) からファイルをダウンロードしてください。

1 製品に付属するユーザーマニュアル CD を、CD-ROM ドライブに挿入します。

2 "Windows Driver"をクリックします。

3 画面上に表示される手順に従って、インストールを行います。

4 モデルの一覧からご使用のモデルを選択します。



5 [画面のプロパティ] に移動して、適切な解像度とリフレッシュ レートになっていることを確認します。

詳細は、Windows OS のマニュアルを参照してください。

3.2.3 最適な解像度の設定

購入後に製品の電源を初めてオンにすると、最適な解像度設定についての通知メッセージが表示されます。

言語を選択し、解像度を最適な値に変更します。

1 [▲/▼]を押して該当する言語に移動し、[MENU]を押します。

2 通知メッセージを非表示にするには、[MENU]を押します。

- 最適な解像度が選択されていない場合には、電源を一度オフにしてから再度オンにした場合でも、このメッセージが一定期間、最大 3 回表示されます。
- 最適な解像度は、PC の**コントロール パネル**で選択することもできます。

3.2.4 PC を使用した解像度の変更

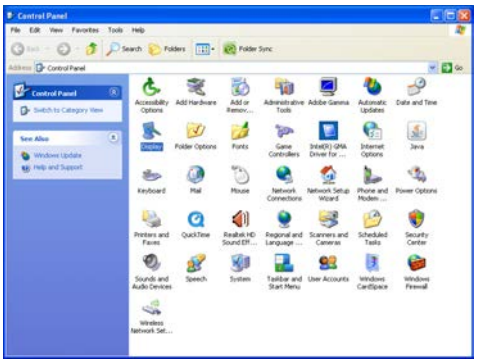
- PC のコントロール パネルで、解像度とリフレッシュ レートを調整して、最適な画質にします。
- 最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。

Windows XP での解像度の変更

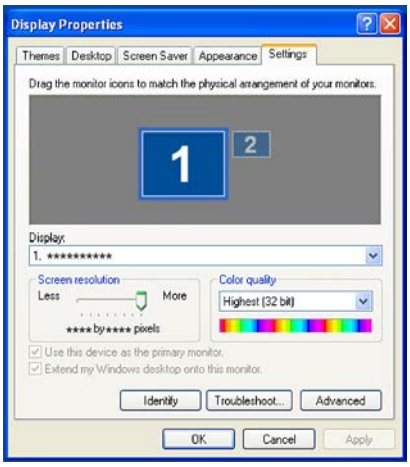
コントロール パネル → **画面** → **設定**に移動して、解像度を変更します。

1

2



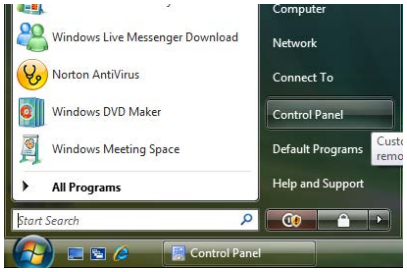
3



Windows Vista での解像度の変更

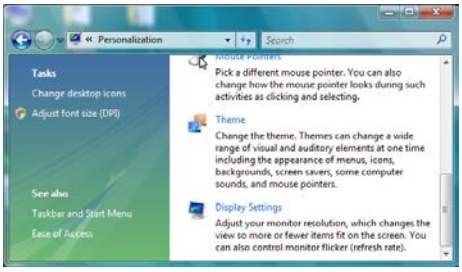
コントロール パネル → **個人設定** → **画面の設定** に移動して、解像度を変更します。

1



2

3

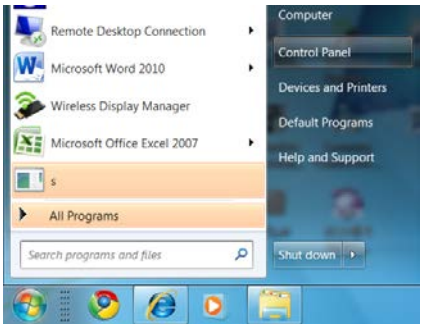


4

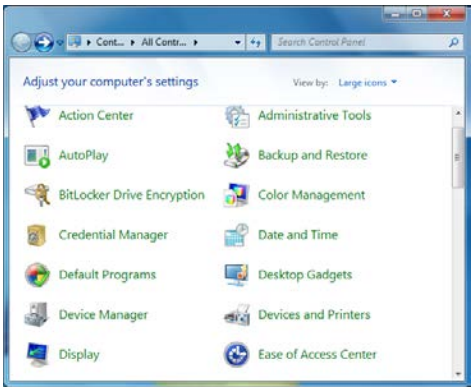
Windows 7 での解像度の変更

コントロール パネル → **画面** → **画面の解像度** に移動して、解像度を変更します。

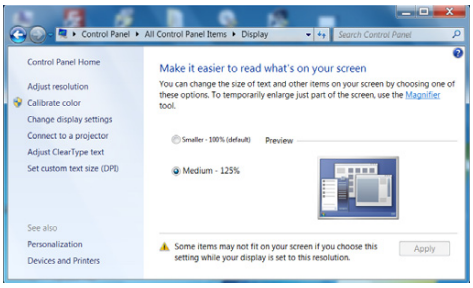
1



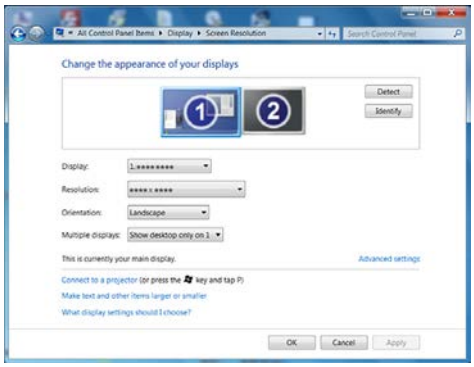
2



3



4

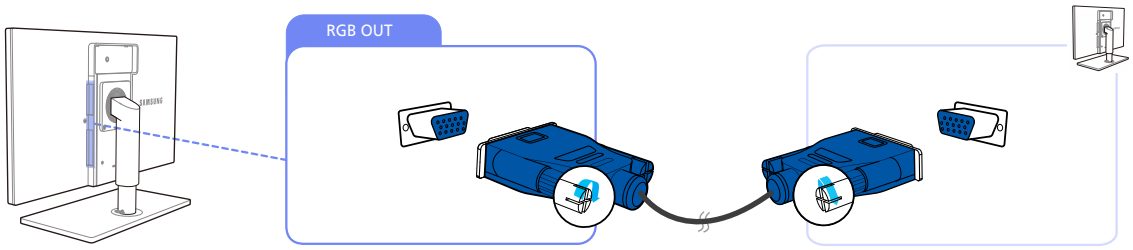


3 入力信号デバイスの接続と使用

3.3 ビデオ機器との接続

3.3.1 外部モニターを接続する

D-SUB ケーブルを使用した接続 (アナログタイプ)



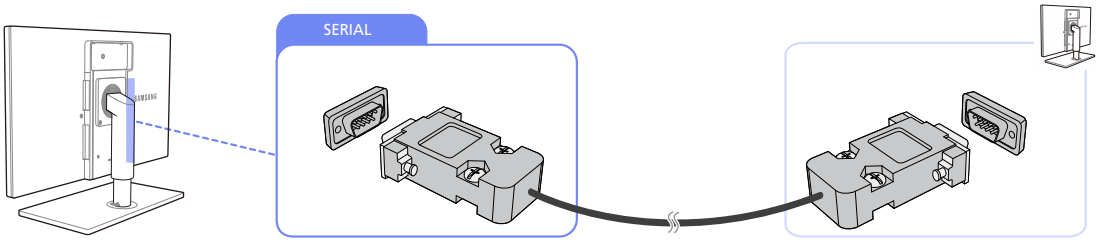
1 D-SUB ケーブルを使用して、製品背面の [RGB OUT] と別のモニターの RGB を接続します。

2 DC 電源アダプタを製品本体とコンセントに接続します。次に、PC の電源スイッチをオンにします。

(詳細については、"3.4 電源の接続" を参照してください。)

3 [⏎/↵]を押して入力ソースを **アナログ** に変更します。

RS-232C ケーブルを使用した接続

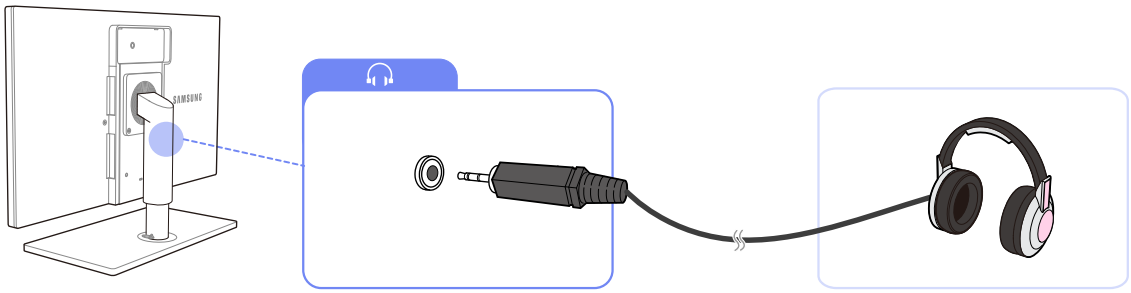


1 RS-232C ケーブルを使用して、製品背面の [SERIAL] と別のモニターの SERIAL を接続します。

2 DC 電源アダプタを製品本体とコンセントに接続します。次に、PC の電源スイッチをオンにします。

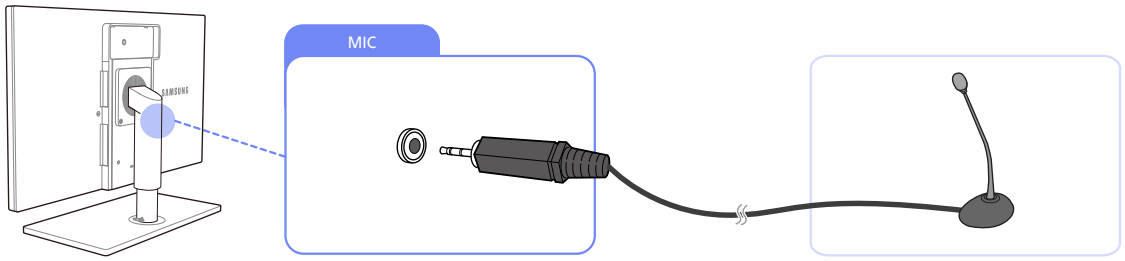
(詳細については、"3.4 電源の接続" を参照してください。)

3.3.2 ヘッドフォンへの接続



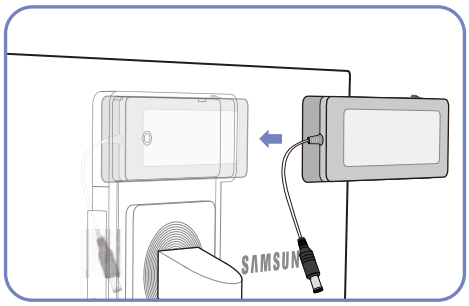
1 音声出力デバイス（ヘッドフォン）を製品背面の［🎧］に接続します。

3.3.3 マイクの接続



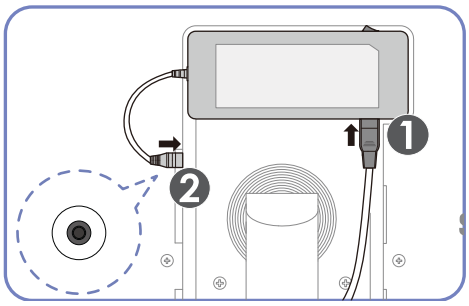
1 マイクを製品背面の［MIC］に接続します。

3.4 電源の接続

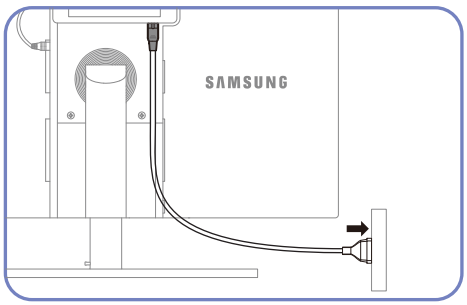


スイッチを上にして、DC 電源アダプタを溝に押し込みます。

– カチッという音がするまで、アダプタを押し込みます。

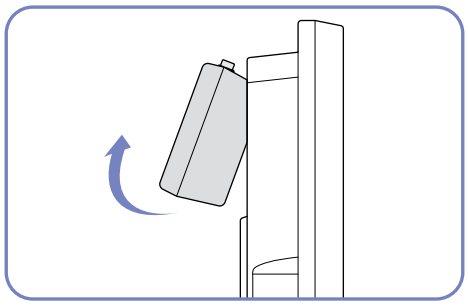


電源ケーブルを DC 電源アダプタに接続します。次に、DC 電源アダプタを製品に接続します。



電源ケーブルをコンセントに接続します。

– DC 電源アダプタの取り外し



DC 電源アダプタを取り外すには、図に示すように、アダプタの下部を外側に持ち上げます。

アダプタをモニターの背面に固定せずに使用する場合には、アダプタ ジャックが外れやすくなったり、ケーブルが破損することがあります。アダプタを溝にしっかりと固定してください。

4 画面の設定

明るさや色温度などの画面設定を行います。

4.1 明るさ

画像の明るさを調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、画像が明るくなります。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。
- このメニューは、**エコ セービング** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

4.1.1 明るさ の設定

1. [MENU]を押します。
2. [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/⏎]を押します。
3. [▲/▼]を押して**明るさ**に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4. [▲/▼] ボタンを使用して**明るさ**を調整します。

4 画面の設定

4.2 コントラスト

画像と背景のコントラストを調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、コントラストが高くなり、オブジェクトがよりはっきりとします。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

4.2.1 コントラストの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[▭/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**コントラスト**に移動し、[▭/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**コントラスト**を調整します。

4.3 シャープネス

画像の輪郭をより鮮明に、またはソフトに調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、画像の輪郭がより鮮明になります。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

4.3.1 シャープネスの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[▭/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**シャープネス**に移動し、[▭/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**シャープネス**を調整します。

4.4 SAMSUNG MAGIC Bright

このメニューでは、製品を使用する環境に合わせて画質を最適化することができます。

- このメニューは、**エコ セービング** が **オン** に設定されている場合には使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC**Angle** が有効になっているときには使用できません。

この機能では、好みに合わせて視角、明るさ、色合いを調整できます。

4.4.1 SAMSUNG MAGIC Bright の設定

1. [MENU]を押します。
2. [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/↵]を押します。
3. [▲/▼]を押して SAMSUNG MAGIC**Bright** に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

- **ユーザー調整**: 必要に応じてコントラストと明るさをカスタマイズします。
- **標準**: 文書の編集やインターネットの使用に適した画質を取得します。
- **ゲーム**:グラフィック効果や動的動作を多く使用したゲームに適した画質を取得します。
- **シネマ**:ビデオや DVD コンテンツに適した、TV と同じ明るさとシャープネスを取得します。
- **ダイナミックコントラスト**:コントラストを自動調整し、バランスの取れた明るさを取得します。

4. [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。
5. 選択されたオプションが適用されます。

4.5 SAMSUNG MAGIC Angle

SAMSUNG MAGICAngle を使用すると、好みの視角に応じて画質が最適となるよう設定できます。

- このメニューは、SAMSUNG MAGICBright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGICColor が有効になっているときには使用できません。

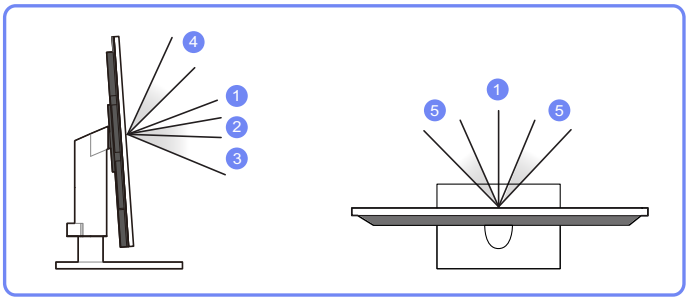
この機能では、好みに合わせて視角、明るさ、色合いを調整できます。

4.5.1 SAMSUNG MAGIC Angle の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して SAMSUNG MAGICAngle に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



- **オフ** ①:真正面から見るときに選択します。
- **ボトム モード 1** ②:少し下から見上げるときに選択します。
- **ボトム モード 2** ③:ボトム モード 1 よりも下から見上げるときに選択します。
- **トップ モード** ④:上から見下ろすときに選択します。
- **サイド モード** ⑤:左右から見るときに選択します。
- **多人数で視聴**:複数名が同時に①, ④、⑤の位置から見るときに選択します。
- **ユーザー調整**: **ユーザー調整**を選択した場合は、デフォルトでは**ボトム モード 1**が適用されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

4.6 粗調整

画面の周波数を調整します。

アナログ モードでのみ使用できます。

4.6.1 粗調整

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**粗調整**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**粗調整**を行います。

4.7 微調整

画面を微調整して、映像をより鮮明にします。

アナログ モードでのみ使用できます。

4.7.1 微調整

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**微調整**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**微調整**を行います。

5 色合いの設定

画面の色合いを調整します。このメニューは、SAMSUNG MAGICBright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。

5.1 SAMSUNG MAGIC Color

SAMSUNG MAGICColor は、Samsung が独自に開発した新しい映像画質向上テクノロジーで、画質を低下させることなく色鮮やかな自然色を実現します。

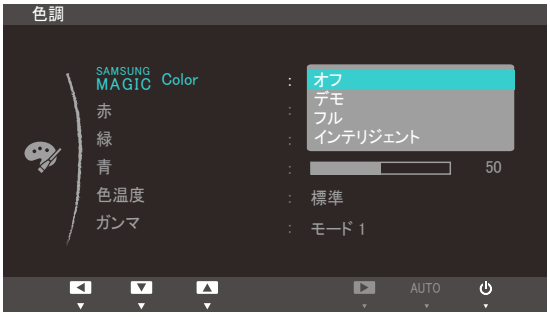
このメニューは、SAMSUNG MAGICAngle が有効になっているときには使用できません。

5.1.1 SAMSUNG MAGIC Color の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[▭/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して SAMSUNG MAGICColor に移動し、[▭/↵]を押します。以下の画面が表示されます。



- **オフ**:SAMSUNG MAGICColor を無効にします。
- **デモ**:通常の画面モードと SAMSUNG MAGICColor モードを比較できます。
- **フルモード**: 肌の色を含む、映像全体の画質をより鮮明にします。
- **インテリジェント**:肌の色以外の、映像全体の彩度を向上させます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

5 色合いの設定

5.2 赤

画像の赤色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

このメニューは、SAMSUNG MAGICColor が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

5.2.1 赤 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[▭/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**赤** に移動し、[▭/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**赤** を調整します。

5 色合いの設定

5.3 緑

画像の緑色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

このメニューは、SAMSUNG MAGICColor が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

5.3.1 緑 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[▭/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**緑** に移動し、[▭/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**緑** を調整します。

5 色合いの設定

5.4 青

画像の青色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

このメニューは、SAMSUNG MAGICColor が フル モードまたは インテリジェント モードのときは使用できません。

5.4.1 青 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して色調に移動し、[▭/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して青 に移動し、[▭/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して青 を調整します。

5 色合いの設定

5.5 色温度

画像の色温度を調整します。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Angle が有効になっているときには使用できません。

5.5.1 色温度 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**色温度**に移動し、[⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

- **青色系 2**:色温度を**青色系 1**よりも寒色に設定します。
- **青色系 1**:色温度を**標準**モードよりも寒色に設定します。
- **標準**: 標準の色温度を表示します。
- **赤色系 1**:色温度を**標準**モードよりも暖色に設定します。
- **赤色系 2**:色温度を**赤色系 1**よりも暖色に設定します。
- **ユーザー調整**: 色温度をカスタマイズします。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

5 色合いの設定

5.6 ガンマ

映像の中間域の明るさ（ガンマ）を調整します。

このメニューは、SAMSUNG MAGIC Angle が有効になっているときには使用できません。

5.6.1 ガンマの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[▭/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**ガンマ**に移動し、[▭/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6 画面のサイズとポジションの変更

6.1 H-ポジション と V-ポジション

H-ポジション:画面を左右に動かします。

V-ポジション:画面を上下に動かします。

アナログ モードでのみ使用できます。

6.1.1 H-ポジション と V-ポジションの設定

1. [MENU]を押します。
2. [▲/▼]を押して**サイズとポジション**に移動し、[⏎/↵]を押します。
3. [▲/▼]を押して **H-ポジション** または **V-ポジション** に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4. [▲/▼]を押して **H-ポジション** または **V-ポジション** を設定します。

6 画面のサイズとポジションの変更

6.2 画像サイズ

映像サイズを変更します。

6.2.1 画像サイズ の変更

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**サイズとポジション**に移動し、[⏎/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**画像サイズ**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

- **自動**:入力ソースの縦横比で画像を表示します。
- **ワイド**:入力ソースの縦横比と無関係に画像を全画面表示します。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6 画面のサイズとポジションの変更

6.3 メニューのH-ポジションとメニューのV-ポジション

メニューのH-ポジション:メニューの位置を左右に動かします。

メニューのV-ポジション:メニューの位置を上下に動かします。

6.3.1 メニューのH-ポジションとメニューのV-ポジション の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**サイズとポジション**に移動し、[⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **メニューのH-ポジション** または **メニューのV-ポジション** に移動し、[⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して **メニューのH-ポジション** または **メニューのV-ポジション** を設定します。

7 セットアップとリセット

7.1 リセット

製品に対するすべての設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

7.1.1 設定の初期化（リセット）

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**リセット**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.2 言語

メニューの言語を設定します。

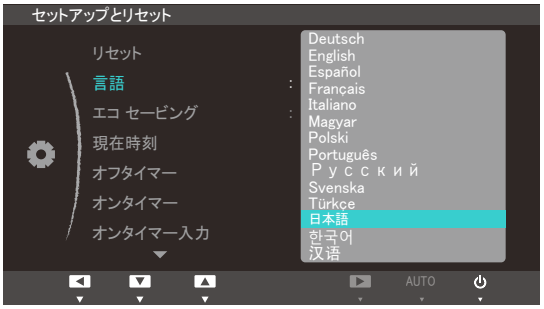
- 言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。
- ご使用の PC のその他の機能には適用されません。

7.2.1 言語 の変更

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**言語**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▲/▼]を押して該当する言語に移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7 セットアップとリセット

7.3 エコ セービング

エコ セービング 機能によって、モニター パネルで使用される電力を制御することにより、消費電力が削減されます。

このメニューは、SAMSUNG MAGICBright が **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。

7.3.1 エコ セービングの設定

1. [MENU]を押します。
2. [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎/↵]を押します。
3. [▲/▼]を押して**エコ セービング**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

- **75%**: モニターの消費電力をデフォルト レベルの 75% に変更します。
- **50%**: モニターの消費電力をデフォルト レベルの 50% に変更します。
- **オフ**:**エコ セービング** 機能を無効にします。

4. [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。
5. 選択されたオプションが適用されます。

7.4 現在時刻

現在時刻を手動で設定します。

7.4.1 現在時刻 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**現在時刻**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して**現在時刻**を行います。

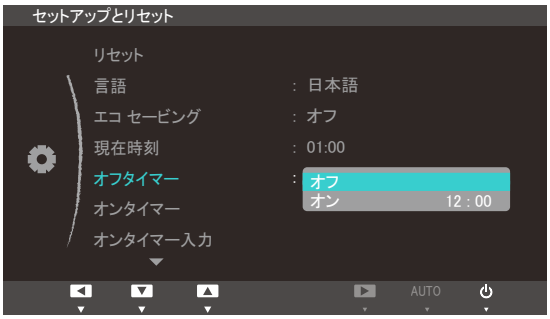
7.5 オフタイマー

製品が自動的にオフになるよう設定することができます。

オフタイマー は、**現在時刻** が設定されている場合にのみ有効になります。

7.5.1 オフタイマー の設定

1 [MENU]を押します。
2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎]を押します。
3 [▲/▼]を押して **オフタイマー** に移動し、[⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。
5 選択されたオプションが適用されます。

7.6 オンタイマー

製品が自動的にオンになるよう設定することができます。

オンタイマー は、**現在時刻** が設定されている場合にのみ有効になります。

7.6.1 オンタイマー の設定

1 [MENU]を押します。
2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎/↵]を押します。
3 [▲/▼]を押して **オンタイマー** に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。
5 選択されたオプションが適用されます。

7.7 オンタイマー入力

製品がオンになったときに優先されるデフォルトの入力信号を指定します。

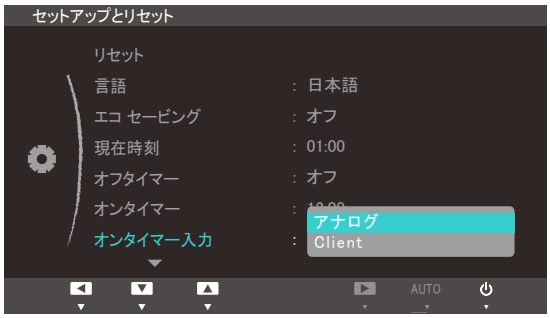
オンタイマー入力 は、**オンタイマー** がオンの場合にのみ有効になります。

7.7.1 オンタイマー入力 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **オンタイマー入力** に移動し、[⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.8 オンタイマー音量

製品がオンになったときの音量を指定します。

オンタイマー音量 は、**オンタイマー** がオンの場合にのみ有効になります。

7.8.1 オンタイマー音量 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **オンタイマー音量** に移動し、[⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して**オンタイマー音量**を行います。

7.9 カスタマイズキー

カスタマイズキー を以下のようにカスタマイズすることができます。

7.9.1 カスタマイズキー の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**カスタマイズキー**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

- SAMSUNG MAGIC**Angle** – SAMSUNG MAGIC**Bright** – **エコ セービング** – **画像サイズ**

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.10 表示時間

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを一定期間使用しなかった場合に自動的に消えるよう設定します。

表示時間では、OSD メニューが消えるまでの時間を指定できます。

7.10.1 表示時間の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**表示時間**に移動し、[⏎/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.11 メニューの透明度

メニュー ウィンドウの透明度を設定します:

7.11.1 メニューの透明度の変更

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⬜/↵]を押します。

3 [▲/▼]を押して**メニューの透明度**に移動し、[⬜/↵]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[MENU]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

8 インフォメーションメニューおよびその他

8.1 インフォメーション

現在の入力ソース、周波数および解像度を表示します。

8.1.1 インフォメーションの表示

1 [MENU]を押します。

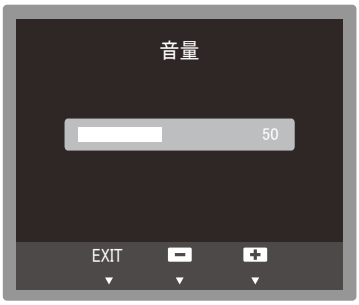
2 [▲/▼]を押して**インフォメーション**に移動します。現在の入力ソース、周波数および解像度が表示されます。

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

8.2 起動画面での 音量 の設定

起動画面では、オンスクリーン ディスプレイ メニューを使用することはできませんが、[◉]ボタンを使用して**音量**を調整できます。

1 初期画面の表示中に、[◉] ボタンを押します。以下の画面が表示されます。



2 [▲/▼]ボタンを使用して**音量**を調整します。

9 ソフトウェアのインストール

9.1 ナチュラルカラー

9.1.1 ナチュラルカラー とは?

PC を使用しているときの問題として、画面に表示される色が印刷したときの色またはスキャナーやデジタル カメラから入力されたソース画像の色と異なる場合がある、というものがあります。Natural Color は、Samsung Electronics がこの問題を解決するために開発した色管理システムです。このソフトウェアはサムスンの製品でのみ動作し、画面に表示される色を調整して印刷したときの画像の色と同じになるようにします。詳しくは、ソフトウェアのオンライン ヘルプ （F1）を参照してください。

Natural Color はオンラインで入手できます。以下の Web サイトからダウンロードしてインストールすることができます。

http://www.samsung.com/us/consumer/learningresources/monitor/naturalcolorexpert/pop_download.html

9 ソフトウェアのインストール

9.2 MultiScreen

MultiScreen は、複数の画面に区切ってモニターを複数のユーザーが使用できるようにします。

9.2.1 ソフトウェアのインストール

1 CDをCD-ROMドライブに挿入します。

2 "MultiScreen" セットアップ プログラムを選択しまｓう。

ソフトウェア インストールのポップアップ画面がメイン画面に表示されない場合には、[CD-ROM] で "MultiScreen" セットアップ ファイルを探してダブルクリックします。

3 インストール ウィザードが表示されたら、[**Next （次へ）**]をクリックします。

4 画面上に表示される手順に従って、インストールを行います。

- このソフトウェアは、インストール後にコンピュータを再起動しないと正常に動作しない場合があります。
- コンピュータ システムと製品の仕様によっては、"MultiScreen" アイコンが表示されない場合があります。
- ショートカット アイコンが表示されない場合には、"F5" キーを押します。

インストールに関する制限と問題 (MultiScreen)

"MultiScreen "のインストールは、グラフィック カード、マザーボードおよびネットワーク環境による影響を受けることがあります。

オペレーティング システム

"OS"

- "Windows 2000"
- "Windows XP Home Edition"
- "Windows XP Professional"
- "Windows Vista 32Bit"
- "Windows 7 32bit"

"MultiScreen" では、"Windows 2000 "以降のオペレーティング システムが推奨されます。

"ハードウェア"

- 最低 32MB のメモリ
- 最低 60MB のハードディスク空き容量

9.2.2 ソフトウェアの削除

[Start (スタート)] をクリックし、[Settings (設定)]/[Control Panel (コントロール パネル)] を選択して [Add or Remove Programs (プログラムの追加と削除)] をダブルクリックします。

プログラム リストから "MultiScreen" を選択し、[Add(変更)/Delete (削除)] ボタンをクリックします。

9 ソフトウェアのインストール

9.3 MagicRMS Pro (TC220W モデルのみ)

9.3.1 MagicRMS Pro について

MagicRMS Pro プログラムを使用して、Samsung ネットワーク モニターを離れた場所から制御することができます。ユーザー志向のインターフェイス設計により、簡単で便利に使用することができます。

MagicRMS Pro を使用してタスクのスケジュールを設定し、指定した時刻にネットワーク モニター上で実行することができます。

また、条件を指定してグループ化またはフィルタリングすることにより、複数のネットワーク モニターを効率的に管理することができます。

MagicRMS Pro Solution または MagicRMS Pro Agent の使用またはユーザー ガイドの閲覧に当たっては、www.samsunglfd.com をご覧ください。**Support**>**Download Center** に移動し、**MagicRMS** を検索してダウンロードします。

オープン ソース ライセンスに関する注意 オープン ソース ソフトウェアを使用する場合のために、オープン ソース ライセンスが MagicRMS Pro Agent に収録されています。 オープン ソース ライセンスに関する注意は、英語でのみ記載されています。

本ページに記載されている内容は、**TC220N** モデルには適用されません。このモデルはオペレーティング システムを使用していません。

10.1 Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に

10.1.1 製品のテスト

サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品と PC が正しく接続されているのに画面に何も表示されず、電源インジケーターが点滅する場合には、自己診断テストを実行します。

1. PC と製品の両方の電源をオフにします。
2. 製品からケーブルを外します。
3. 製品の電源をオンにします。
4. **信号ケーブルを確認してください**というメッセージが表示された場合には、製品は正常に動作しています。

   画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

10.1.2 解像度と周波数の確認

サポートされている解像度を超えている場合 (“11.3 標準信号モード表”参照) には、**最適なモードではありません**というメッセージが少しの間表示されます

10.1.3 以下について確認します。

インストールの問題 (PC モード)	
画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC 間のケーブルが正しく接続されていること、およびコネクタがしっかりと固定されていることを確認します。(“3.2 PC の接続と使用”参照)。

画面の問題	
電源 LED が消灯している。画面がオンにならない。	電源コードが正しく接続されていることを確認します。(“3.2 PC の接続と使用”参照)。

画面の問題	
信号ケーブルを確認してくださいというメッセージが表示される。	製品にケーブルが正しく接続されていることを確認します。(“3.2 PC の接続と使用”参照)。
	電源がオンになっている製品に装置が接続されていることを確認します。
最適なモードではありません と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大解像度または最大周波数を超えている場合に表示されます。
	標準信号モード表 (90 ページ) を参照し、製品性能に適した最大解像度および最大周波数に変更します。
画面の画像がゆがんで見える。	製品のケーブル接続を確認します (“3.2 PC の接続と使用”参照)。
画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	**粗調整** (56 ページ) および**微調整** (57 ページ) を行います。
	アクセサリ (ビデオの拡張ケーブルなど) を取り外して再度試してみます。
	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。(“11.1 一般”参照)。
画面が安定せず震えて見える。	PC 用の解像度と周波数が製品の対応する解像度と周波数の範囲に設定されていることを確認します。次に、このマニュアルおよび製品の **インフォメーション** メニューに掲載されている標準信号モード表 (90 ページ) を参照して、設定を変更します。
画面の画像の左側に影やゴーストがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	**明るさ** (51 ページ) と**コントラスト** (52 ページ) を調整します。
画面の色が正しくない。	**色調**設定を変更します。(“ 色合いの設定”参照)。
画面の色に影があり、ゆがんで見える。	**色調**設定を変更します。 (“ 色合いの設定”参照)。
白が正しく白色に見えない。	**色調**設定を変更します。 (“ 色合いの設定”参照)。
画面に画像が表示されず、LED が 0.5～1 秒間隔で点滅する。	製品が省電力モードになっています。
	キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。

音声の問題	
音声が出ない	オーディオ ケーブルの接続を確認するか、音量を調整します。
	音量をチェックします。
音量が小さすぎる。	音量を調整します。
	最大レベルにしても音量が小さい場合には、PC のサウンド カードまたはソフトウェア プログラムの音量を調整します。

入力信号装置お n 問題	
PC の起動時にビープ音が鳴る。	PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

10.2 Q & A

質問	回答
周波数の変更方法は?	グラフィック カードで周波数を設定します。 • Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **設定** → **詳細** → **モニタ** に移動し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を変更します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップのカスタマイズ** → **個人設定** → **画面の設定** → **詳細設定** → **モニタ** を選択し、**モニタの設定** の **リフレッシュ レート** を調節します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **画面の解像度** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。
解像度の変更方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **画面の設定** で解像度を調整します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **画面** → **解像度の調整** で解像度を調整します。
省電力モードの設定方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。

調整の詳細な手順については、ご使用の PC またはグラフィック カードのユーザー マニュアルを参照してください。

11 仕様

11.1 一般

モデル名		TC220W / TC220N
パネル	サイズ	22 インチ (55cm)
	表示範囲	473.76 mm (H) x 296.1 mm (V)
同期	水平周波数	31~80kHz
	垂直周波数	56~75Hz
表示色		16.7万色
解像度	最適解像度	1680 x 1050 @ 60Hz
	最大解像度	1680 x 1050 @ 60Hz
最大ピクセル クロック		146.250MHz （アナログ、デジタル）
電源		この製品は 100～240 V に対応しています。 標準の電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを確認してください。
PC 信号コネクタ		RGB IN (D-Sub) ポート
サーバー コネクタ		LAN
USB		USB 2.0 X 4 (ダウンストリーム)
寸法 (W x H x D) / 重量		508.0 X 396.3 X 216.6 mm (スタンド付き) / 5.5 kg 508.0 X 344.3 X 49.0 mm (スタンドなし) / 3.8 kg
VESA (V x H)		100 mm X 100 mm 100 mm X 200 mm
環境条件	動作時	温度:10 ° C ~ 40 ° C (50 ° F ~ 104 ° F) 湿度:10～80 %、結露しないこと
	記録装置(梱包保存時)	温度:-20 ° C ~ 45 ° C (-4 ° F ~ 113 ° F) 湿度:5～95 %、結露しないこと
傾き		2° (±1°) ~ 25° (±1°)

11 仕様

モデル名	TC220W / TC220N
プラグ & プレイ	このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールして使用することができます。モニターと PC システムとの双方向のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。モニターのインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてインストール設定をカスタマイズすることができます。
パネル ドット (ピクセル)	この製品の製造上の特質によって、パネルに表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。

上記の仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

ＶＣＣＩ－Ｂ

この装置は、クラスＢ　情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

11.2 省電力

この製品の省電力機能は、製品が一定時間使用されていないときには画面をオフにして消費電力を小さくし、電源 LED の色を変更します。省電力モードでは電源はオフにはなりません。画面を再度オンにするには、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。省電力モードは、製品が省電力機能のある PC に接続されているときにのみ機能します。

省電力	通常動作	省電力モード	電源オフ（電源ボタン オフ）	電源オフ（電源スイッチ オフ）
電源ランプ	オン	青色に点滅	オフ	オフ
消費電力	29 ワット	2.7 ワット未満	2.7 ワット未満	0 W

- 表示される消費電力のレベルは、動作条件または設定が変更されたタイミングによって異なります。
- 消費電力を 0 ワットにするには、製品本体背面の電源スイッチをオフにするか電源コードを抜きます。長期間製品を使用しない場合は、必ず電源コードを抜いてください。電源スイッチを使用できない場合に電力消費を 0 にするには、電源ケーブルを抜きます。

11.3 標準信号モード表

- この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。したがって、指定の解像度以外の解像度を設定すると、画質が低下する場合があります。これを避けるには、ご使用の製品の画面サイズ用の最適な解像度を選択することをお勧めします。
- (PC に接続されている) CDT モニターを LCD モニターに交換した場合には、周波数を確認してください。LCD モニターが 85Hz をサポートしていない場合には、CDT モニターを使用して垂直周波数を 60Hz に変更してから LCD モニターに交換してください。

以下の標準信号モードに該当する信号が PC から送信される場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源 LED が点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/−
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	−/+
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	−/−
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	−/−
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	−/−
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	−/−
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	−/−
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、848 x 480	31.020	60.000	33.750	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	−/−
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	−/−
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 768	47.776	59.870	79.500	−/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1360 x 768	47.712	60.015	85.500	+/+
VESA、1366 x 768	47.712	59.790	85.500	+/+
VESA,1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+
VESA,1920 x 1080 (RB)	66.587	59.934	138.500	+/−

- 水平周波数

  1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

- 垂直周波数

  1 秒間に数十回同じ映像を繰り返し表示することによって、自然な映像を表示できるようになります。この反復周波数を ″垂直周波数″ または ″リフレッシュ レート″ と呼び、Hz 単位で表示します。

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp/
住所	〒135-0062　東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

用語

OSD (オンスクリーン ディスプレイ)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) では、画面上の設定を行って、必要に応じて画質を最適化することができます。画面に表示されるメニューを使用して、画面の明るさや色合い、サイズなどのさまざまな設定を変更できます。

粗調整

粗調整では、1 秒間あたりの電波振動の周波数の調整を行います。この周波数が高い場合、大量のデータを送信でき、反映も容易になります。一方、周波数が低い場合は、障害を簡単に回避でき到達距離も長くなりますが、送信できるデータ量は少なくなります。粗調整メニューでは、最適な画質となるように周波数を手動で調整することができます。標準信号モード表 (90 ページ) を参照して製品性能に応じた粗調整を行うことで、より良い画質をお楽しみいただけます。

ガンマ

ガンマ メニューでは、画面の中間調を示すグレースケールを調整します。明るさを調整すると画面全体が明るくなりますが、ガンマを調整した場合は中間の明るさの部分だけが明るくなります。

グレースケール

スケールとは色の強度のことで、画面上の暗い部分から明るい部分への色の変化を表します。画面の明るさの変更は白と黒の変化で表現されますが、グレースケールは白と黒の中間色を指すため、ガンマ調整でグレースケールを変更すると、画面上の中間の明るさの部分が変化します。

走査速度

走査速度は「リフレッシュ レート」とも呼ばれ、画面の書き換え (リフレッシュ) 頻度を表します。画像のリフレッシュ時には画面データが送信されます。ただし、これを肉眼で確認することはできません。この画面を書き換える回数を走査速度と呼び、Hz 単位で表します。たとえば走査速度が 60Hz の場合は、1 秒間に 60 回画面の書き換えが行われます。画面の走査速度は、ご使用の PC およびモニターのグラフィック カードの性能によって異なります。

水平周波数

モニター画面に表示される文字や画像は、多数のドット (ピクセル) で構成されています。ピクセルは水平方向の線 (ライン) になるよう送信され、これらのラインが垂直に配列されて画像が形成されます。水平周波数は kHz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインがモニター画面に送信され描画される回数を表します。たとえば水平周波数が 85 の場合は、画像を作り出す水平方向のラインが 1 秒間に 85,000 回送信されます。このとき、水平周波数は 85kHz と表されます。

垂直周波数

画像は、水平方向の多数のラインで構成されます。垂直周波数は Hz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインによって描画される画像の数を表します。たとえば垂直周波数が 60 の場合は、1 秒間に画像が 60 回描画されます。垂直周波数は ″リフレッシュ レート″ とも呼ばれ、画面のちらつきに作用します。

解像度

解像度は、画面を形成している水平および垂直方向のピクセルの数で、ディスプレイの精細度を意味します。

高い解像度では、多くの情報を画面上に表示できるため、同時に複数の作業を実行する場合に適しています。

たとえば解像度が 1920 x 1080 の場合、水平方向のピクセル (水平周波数) は 1,920 個、垂直のライン (垂直解像度) は 1,080 本となります。

プラグ & プレイ

プラグ & プレイ機能では、モニターと PC 間で情報が自動的に交換され、最適なディスプレイ環境が構築されます。

モニターでは VESA DDC (国際規格) を使用してプラグ & プレイを実行しています。

索引

"Windows Embedded Standard 7" を使用するための接続 *29*

M

MultiScreen *80*

P

PC の接続と使用 *42*

Q

Q & A *86*

S

SAMSUNG MAGIC Angle *55*

SAMSUNG MAGIC Bright *54*

SAMSUNG MAGIC Color *58*

Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に *83*

W

Windows Embedded Standard 7 クライアントとは *28*

Windows Embedded Standard 7 の使用 *30*

Z

安全のために *6*

一般 *87*

画像サイズ *65*

起動画面での 音量 の設定 *78*

現在時刻 *70*

言語 *68*

省電力 *89*

色温度 *62*

製品使用時の正しい姿勢 *13*

青 *61*

赤 *59*

接続の前に *41*

粗調整 *56*

著作権 *2*

内容の確認 *19*

微調整 *57*

標準信号モード表 *90*

表示時間 *76*

部品 *21*

明るさ *51*

用語 *93*

緑 *60*

い

インストール方法 *24*

インフォメーション *78*

え

エコ セービング *69*

お

オフタイマー *71*

オンタイマー *72*

オンタイマー音量 *74*

オンタイマー入力 *73*

か

カスタマイズキー *75*

ガンマ *63*

く

クリーニング *4*

索引

こ
コントラスト 52

し
シャープネス 53

な
ナチュラルカラー 79

め
メニューの透明度 77

り
リセット 67